

平成 27 年度

「公演情報の国際発信に関する調査研究」

公演情報の収集・発信方法の検討結果

報告書

平成 28 年 3 月 31 日

目次

I. 検討プロセスの概要

II. テストサイト

III. 情報掲載および参照実証実験 報告

IV. 考察と提案

I. 検討プロセスの概要

1. テストサイトの構築

公演主催者の情報発信において搭載されるべきシステム要件、および想定セグメント各ユーザーの観点から具備されるべきシステム要件を調査するため、テストサイトを構築する。

2. テストサイトによる実証実験と検証

テストサイトへの情報投入を行った公演主催者、およびユーザー画面から情報を検索した想定セグメント各ユーザーに対し、アンケートとヒアリングによる調査を行う。

3. 検証結果の分析検討

テストサイトでの実証実験結果と、国内外の公演情報および事例調査の結果を総合的に検証・分析し、考察と提案を行う。

II テスト Web(テストシステム)について

1. テスト Web の開発目的

「外国人による日本国内の公演の鑑賞機会を増加させる」ために、国内の公演情報を国際発信し、鑑賞機会に結び付けることを目的とした本番用サイト構築に先んじて、その実証実験を行うためのテスト用 Web サイトを構築する。

2. 本システムの利用者とシステムの役割について

本システムの利用者で、主催者と管理者については、国内(日本語)を想定します。一方、ユーザーについては、国内はもとより、海外(英語)ユーザーをターゲットとします。尚、利用者それぞれに対するシステムの役割は、以下の通り。

分類	No.	利用者	システムの役割	印象付け
主催者	①	貴庁支援団体 当社運営の文化施設 公演プロモーター	・公演情報の登録機能の提供 ・ユーザーのアクセス情報の提供	・「簡単」 「わかりやすい」 を感じる
ユーザー	②	国内 ・旅行会社 ・観光案内所他	・多角的な情報検索を可能にした 公演情報の提供	・「網羅性」 「検索性」が高い
	③	外国人 ・旅行者 ・日本在住者 海外組織 ・旅行会社 ・出版社	・多角的な情報検索を可能にした 公演情報の提供 ・カテゴリ毎の公演の人気表示	・「網羅性」 「検索性」が高い ・「安心」 「信頼」を感じる
管理者	④	運用・管理者	・公開情報の承認 ・ユーザー/主催者の利用状況の情報提供 (情報参照、コンバージョンなど)	-

3. テスト Web URL

(1) 主催者機能・管理者機能

<http://bunka-mock.secure-1st.net/cms/wp-admin/>

※主催者か管理者かの判定は、ログイン ID によって判定します。

(2) ユーザー機能

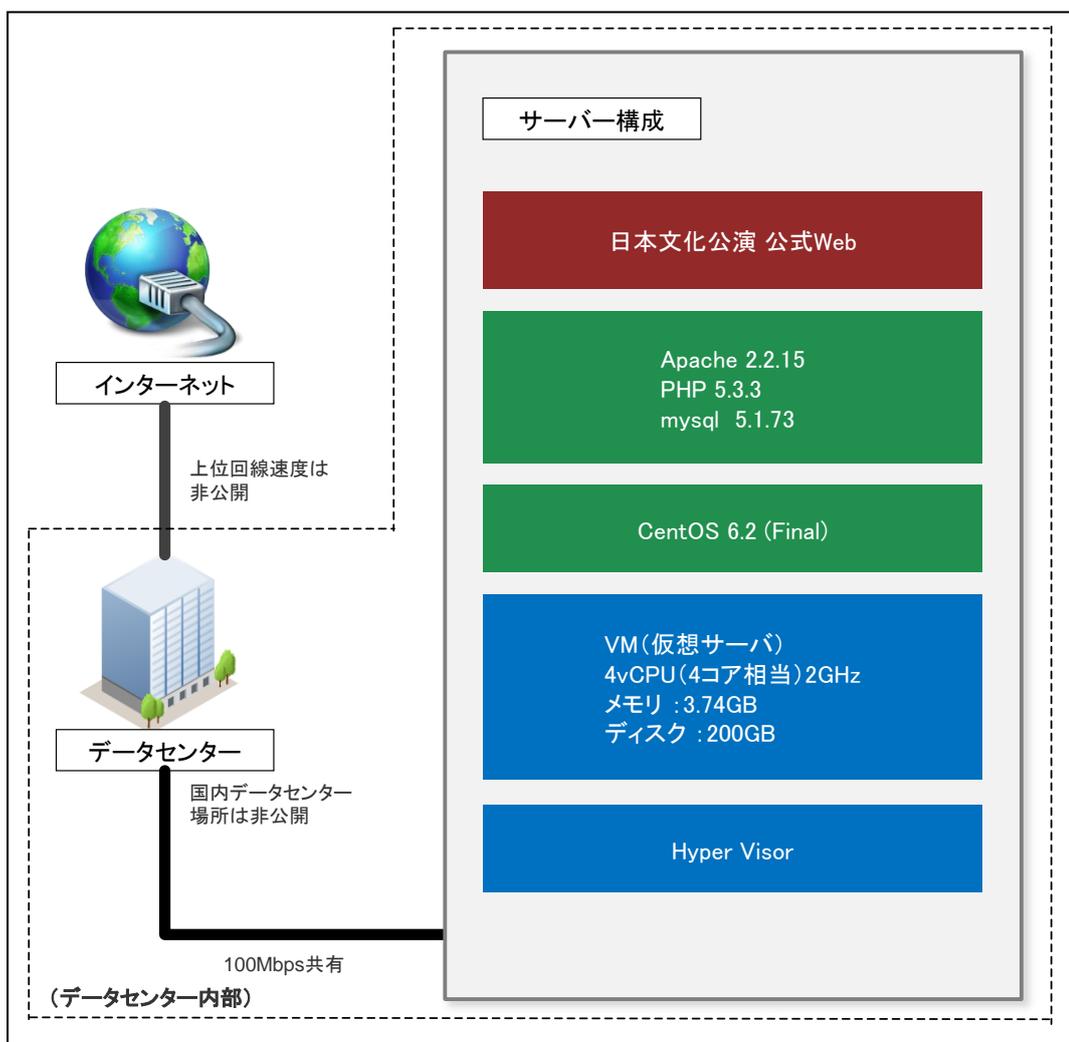
<https://bunka-mock.secure-1st.net/>

(3) 共通

- ・ベーシック認証 : ID bunka / パスワード culture
- ・管理者 : ID bunka / パスワード bunka
- ・サーバー運転期間は、2016 年 4 月末までとなります。

4. システム構成

テスト Web で使用したサーバー機器は、データセンターに設置されている 1 台の仮想サーバーで、その構成は以下の通り。



サーバー環境で使用したソフトは、いずれもオープンソースで、Linux 系で利用実績の多いものを選択しています。

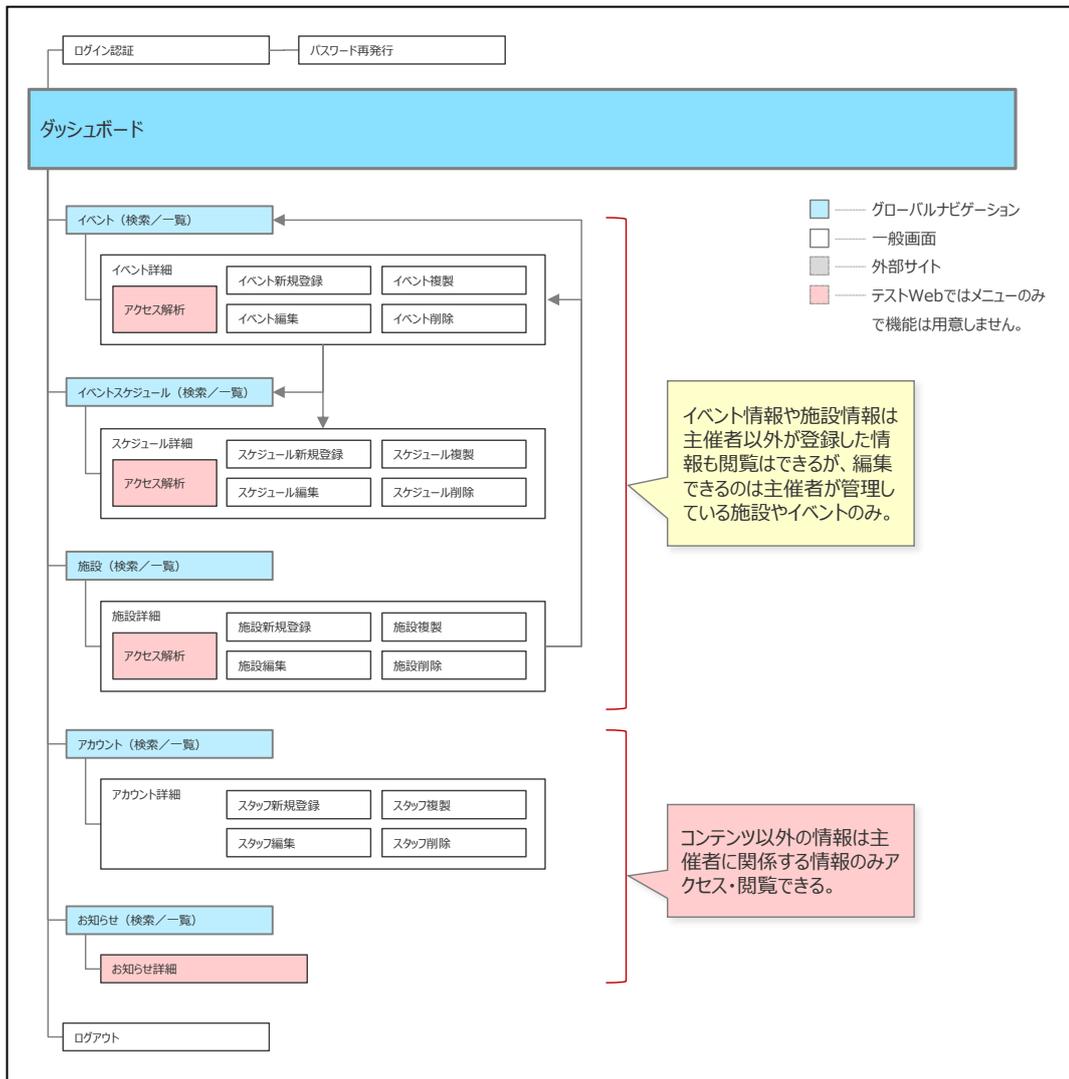
- | | |
|------------------|-------------------------|
| (1) 仮想化 OS | Hyper Visor |
| (2) オペレーティングシステム | CentOS 6.2(Final) |
| (3) Web サーバー | Apache 2.2.15 |
| (4) DBMS | mysql 5.1.73 |

5. 開発機能

開発した機能は、システムの利用者別に3つに大別できる。それぞれの機能毎のサイトマップは、以下の通り。

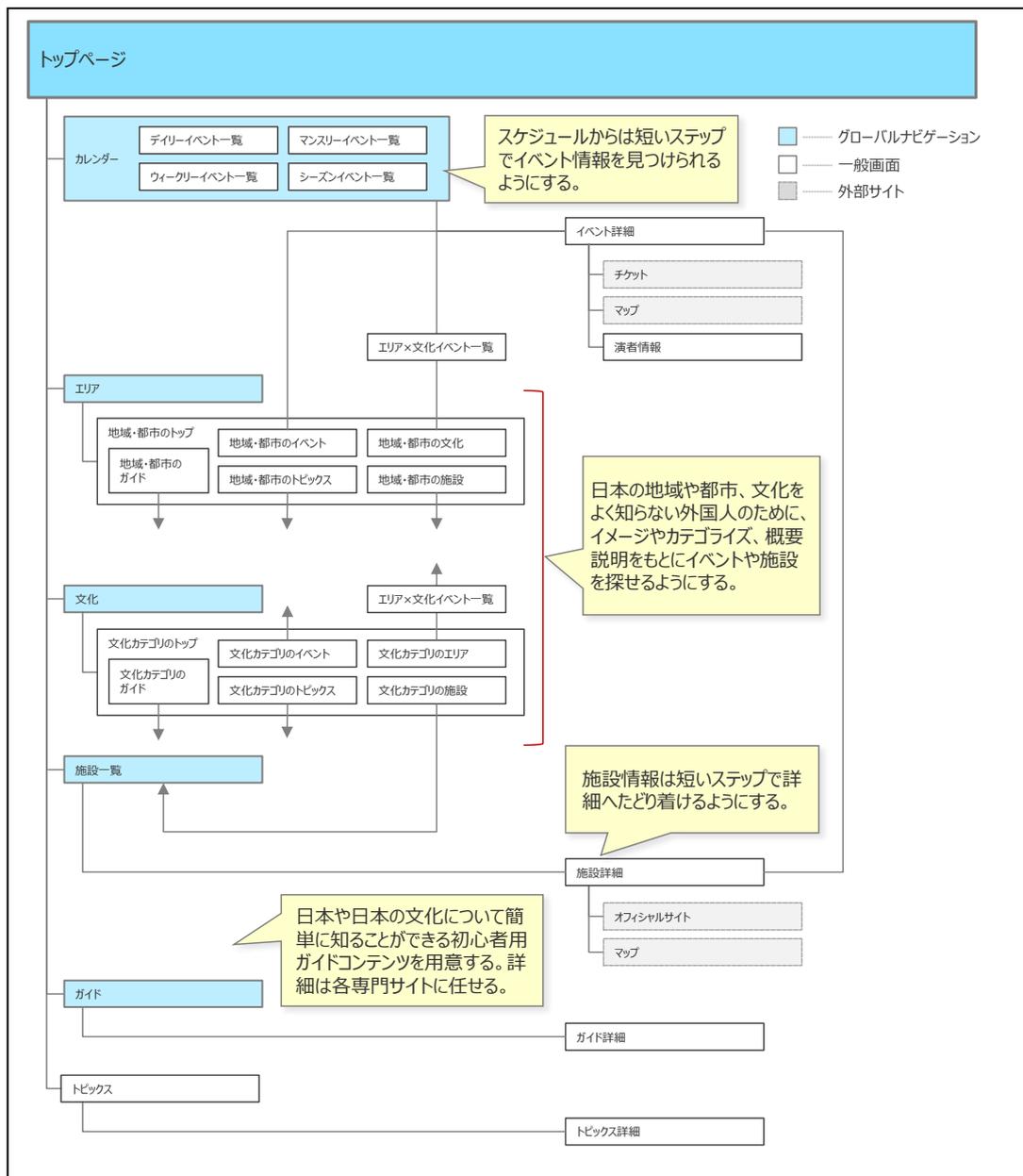
(1) 主催者機能

イベントの主催者がイベントの開催情報(内容・スケジュール・施設など)を登録する機能で、登録した情報は、「管理者機能」によって、公開承認されることで「ユーザー機能」での参照が可能となります。



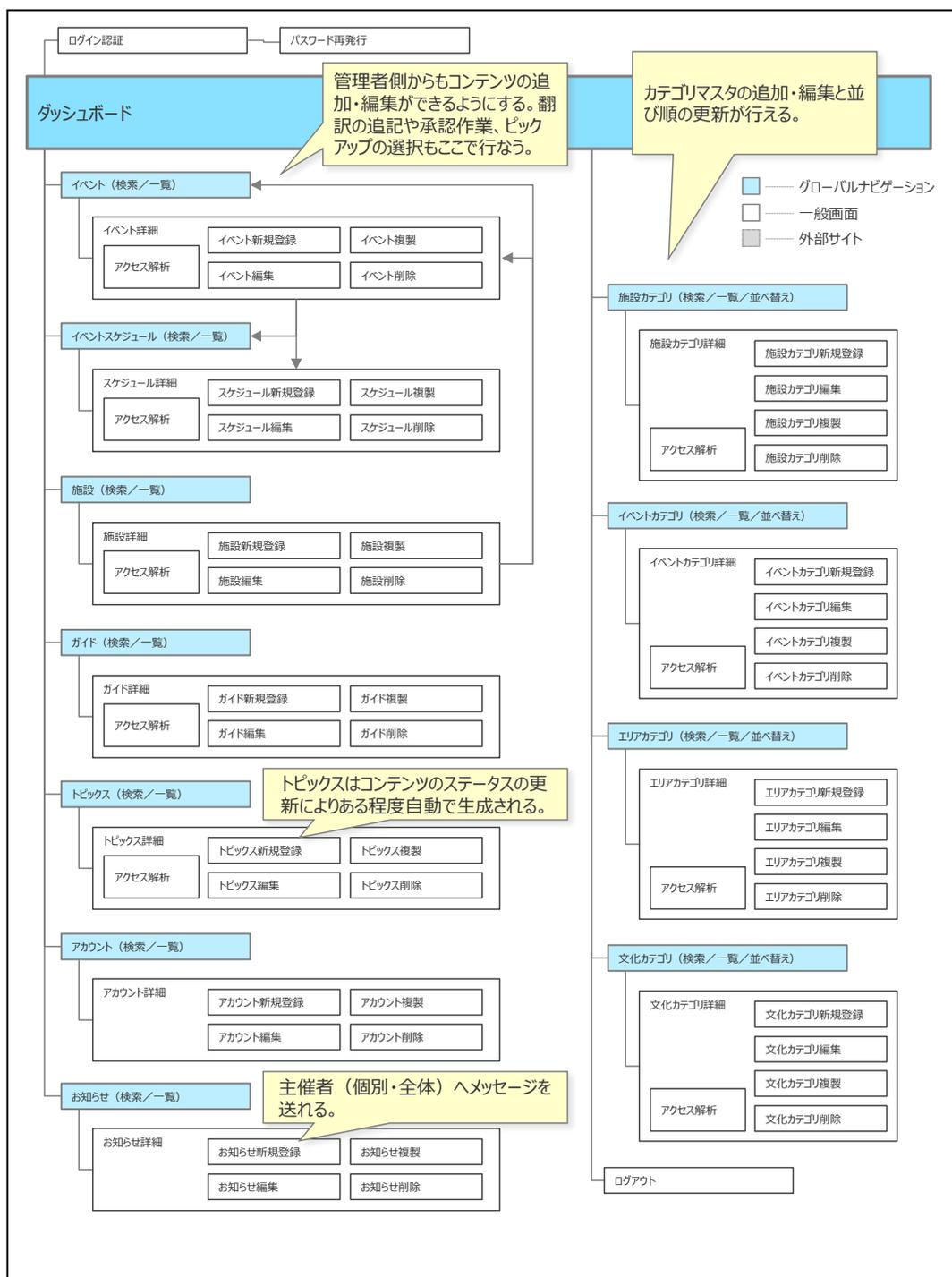
(2) ユーザー機能

「管理者機能」によって、公開承認済のイベント情報を地域やカテゴリ(イベントが保有する属性)などで検索し、結果表示する機能。尚、表示言語は、『日本語』『英語』があり、表示切替が可能。



(3) 管理者機能

本システムの運用管理を行うための機能で、主催者がシステム利用をするためのIDを登録したり、地域やカテゴリといった基本的なマスタの登録に加えて、「主催者機能」から公開申請のあったイベント情報の公開承認を行う機能で、主に事務局が利用する。



<< イベントの登録状況 >>

1. Login 直後のダッシュボード

イベントの登録状況(3/16 時点)
 ※主催者作業

- 下書き 0 件
- 管理者承認待ち 2 件(テストデータ)
- 公開予約済 0 件
- 公開中 33 件

施設の登録状況(3/16 時点)
 ※主に事務局が事前登録

- 下書き 1 件(テストデータ)
- 管理者承認待ち 0 件
- 公開予約済 0 件
- 公開中 42 件

2. イベントの登録内容

(1) イベント一覧

イベントタイトル	イベントカテゴリ	文化カテゴリ	イベントスケジュール	日時
テスト - 承認待ち			0	2016年1月21日 最終編集日
承認待ちの投稿テスト - 承認待ち			0	2016年1月21日 最終編集日
承認待ちの投稿テスト			1	2016年1月18日 公開済み
Kitaraのニューイヤー	ライブ, 正月	クラシックコンサート	2	2016年1月2日 公開済み
東京芸術劇場ナイトタイム・バイブ オルガンコンサート [平成27年度]	ライブ	クラシックコンサート	6	2016年1月2日 公開済み
RooTS Vol.03 寺川修司生誕80年 記念「書を捨てよ町へ出よう」	ライブ	演劇・ミュージカル・ダンス	1	2016年1月2日 公開済み
...	...	クラシックコンサート, 演劇・ミュージ	1	2016年1月2日

では、このイベントを参照してみましょう。
クラシックコンサートで 6 公演が登録されています。

(2) イベント内容

日本文化公演 公式Web Japanese performing arts official site 投稿を表示 ログイン : bunka 様 ログアウト

ダッシュボード

記事を更新する

★ イベント

- ▶ イベント
- ▶ 新規追加
- ▶ イベントカテゴリ
- ▶ 文化カテゴリ

イベントスケジュール

施設

ガイド

トピックス

メディア

管理者からのお知らせ

固定ページ

アカウント

ログアウト

投稿の編集 新規追加

東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサート [平成27年度]

パーマリンク: http://test.bunka-mock.secure-1st.net/event/20160102_266.php 編集 投稿を表示

イベント基本情報

日本語 English メモ 解析

イベント名: 東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサート [平成27年度]

略称:

キャッチコピー:

説明文: パイプオルガンの魅力に迫るシリーズ。仕事や学校帰りでも間に合う、平日19時30分から、およそ60分間のコンサート。身も心も静まった夜、パイプオルガンの音色にゆったりと身を任せ、日

公開

変更をプレビュー

ステータス: 公開済み 編集

公開状態: 公開 編集

公開日時: 2016年1月2日 @ 11:08 編集

ゴミ箱へ移動 更新

イベントカテゴリ

- ライブ
- シーズン
 - クリスマス
 - セタ
 - 冬
 - 夏
 - 春
 - 月見
 - 正月
 - 秋

+ 新視力
デゴリー

日本文化公演 公式Web Japanese performing arts official site 投稿を表示 ログイン : bunka 様 ログアウト

作成者

東京芸術劇場

メイン画像

メイン画像を設定

関連情報

このイベントが行われる施設一覧

このイベントのイベントスケジュール

271 : 東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサート [平成27年度] 2/25
270 : 東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサート [平成27年度] 10/15
269 : 東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサート [平成27年度] 8/5
268 : 東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサート [平成27年度] 6/18
267 : 東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサート [平成27年度] 4/30
890 :

東京芸術劇場様が作成者で、6つのイベントスケジュールが登録されています。次に、スケジュールの登録内容を見てみましょう。

(3) イベントスケジュール内容

日本文化公演 公式Web Japanese performing arts official site

ログイン : bunka様 ログアウト

ダッシュボード

記事を更新する

★ イベント

📅 イベントスケジュール

▶ イベントスケジュール

▶ 新規追加

📍 施設

📖 ガイド

📌 トピックス

📺 メディア

👤 管理者からのお知らせ

📄 固定ページ

👤 アカウント

🔒 ログアウト

イベントスケジュール 新規追加

すべて (69) | 公開済み (66) | 下書き (2) | 保留中 (1) | ゴミ箱 (2)

一括操作 日付指定なし イベント: 指定なし 施設: 指定なし

69項目 << < 1 / 4 > >>

<input type="checkbox"/>	イベントスケジュール	エリア	イベント	施設	日時
<input type="checkbox"/>	(タイトルなし) - 承認待ち	北海道・東北	852 : 承認待ちの投稿テスト	178 : 札幌コンサートホールKitara	2016年1月21日 最終編集日
<input type="checkbox"/>	テスト - 下書き	近畿	782 : テスト	182 : 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール	2016年1月12日 最終編集日
<input type="checkbox"/>	下書き - 下書き	近畿	184 : 沼尻竜典オペラセレクション 沼尻竜典 作曲 歌劇『竹取物語』 (日本語上演/日本語・英語字幕付)	182 : 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール	2016年1月12日 最終編集日
<input type="checkbox"/>	Kitaraのニューイヤー	北海道・東北	272 : Kitaraのニューイヤー	178 : 札幌コンサートホールKitara	2016年1月2日 公開済み
<input type="checkbox"/>	東京芸術劇場ナイトタイム・バイオペルガンコンサート [平成27年度] 2/25	関東	266 : 東京芸術劇場ナイトタイム・バイオペルガンコンサート [平成27年度]	212 : 東京芸術劇場	2016年1月2日 公開済み
<input type="checkbox"/>	東京芸術劇場ナイトタイム・バイオペルガンコンサート [平成27年度] 10/15	関東	266 : 東京芸術劇場ナイトタイム・バイオペルガンコンサート [平成27年度]	212 : 東京芸術劇場	2016年1月2日 公開済み
<input type="checkbox"/>	東京芸術劇場ナイトタイム・バイオペルガンコンサート [平成27年度] 8/5	関東	266 : 東京芸術劇場ナイトタイム・バイオペルガンコンサート [平成27年度]	212 : 東京芸術劇場	2016年1月2日 公開済み

共通部分(日程)

プログラム・出演者(日本語)

日本文化公演 公式Web Japanese performing arts official site

ログイン : bunka様 ログアウト

ダッシュボード

記事を更新する

★ イベント

📅 イベントスケジュール

▶ イベントスケジュール

▶ 新規追加

📍 施設

📖 ガイド

📌 トピックス

📺 メディア

👤 管理者からのお知らせ

📄 固定ページ

👤 アカウント

🔒 ログアウト

投稿の編集 新規追加

東京芸術劇場ナイトタイム・バイオペルガンコンサート [平成27年度] 2/25

URL: http://test.bunka-mock.secure-1st.net/event_schedule/20160102_271.php

公開

ステータス: 公開済み 編集 変更をプレビュー

公開日時: 2016年1月2日 @ 11:31 編集

ゴミ箱へ移動 更新

イベントスケジュール

言語: 日本語 English

イベントステータス: チケット発売中

開催日(180M): 2016/02/25

開催日(10): 2016/02/25

受付開始日(180M): 2015/12/22

日本文化公演 公式Web Japanese performing arts official site

ログイン : bunka様 ログアウト

ダッシュボード

記事を更新する

★ イベント

📅 イベントスケジュール

▶ イベントスケジュール

▶ 新規追加

📍 施設

📖 ガイド

📌 トピックス

📺 メディア

👤 管理者からのお知らせ

📄 固定ページ

👤 アカウント

🔒 ログアウト

イベントスケジュール

URL: http://test.bunka-mock.secure-1st.net/event_schedule/20160102_271.php

ステータス: 公開済み 編集 変更をプレビュー

公開日時: 2016年1月2日 @ 11:31 編集

ゴミ箱へ移動 更新

イベントスケジュール

言語: 日本語 English

開催時間: 19:30開演 (18:30ロビー開場) ※20:30閉演予定

チケットURL: http://www.gigeki.jp/

プログラム・出演者

[出演者]
新山 恵理 フルート: 神田 寛明

[チケット料金]
全席指定 1,000円
※未成年者入場不可

[お問い合わせ]
東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (10:00~19:00)

イベントスケジュール

開催日(10)

開催日

開催日

イベントスケジュール施設

作成者

プログラム・出演者(英語)

日本文化公演 公式Web Japanese performing arts official site

ログイン : bunka様 ログアウト

ダッシュボード

記事を更新する

★ イベント

📅 イベントスケジュール

▶ イベントスケジュール

▶ 新規追加

📍 施設

📖 ガイド

📌 トピックス

📺 メディア

👤 管理者からのお知らせ

📄 固定ページ

👤 アカウント

🔒 ログアウト

イベントスケジュール

URL: http://test.bunka-mock.secure-1st.net/event_schedule/20160102_271.php

ステータス: 公開済み 編集 変更をプレビュー

公開日時: 2016年1月2日 @ 11:31 編集

ゴミ箱へ移動 更新

イベントスケジュール

言語: 日本語 English

Holding time: 19:30 curtain (18:30 lobby doors open) ※ 20:30 the show schedule

Ticket information url: http://www.gigeki.jp/english/t/

Event program and Performers

[Performers]
Eri Niyama, Organ Hiroaki Kanda, Flute

[Tickets]
All seats specified 1,000 yen
※ preschool child admission disabled

[Inquiries]
0570-010-296

<< ユーザーからの参照 >>

3. ユーザーTOP ページ

The screenshot shows the homepage of the Japanese Performing Arts Official Site. At the top, there is a navigation bar with the site name in Japanese and English, a search bar, and menu items for 'イベントカレンダー' (Event Calendar), 'エリア' (Area), '文化' (Culture), '施設' (Facilities), and 'ガイド' (Guide). The main banner features a large image of a traditional Japanese building with the word 'image' overlaid. Below the banner, there are sections for '最新チケット情報' (Latest Ticket Information), '新着トピックス' (New Topics) with three news items dated 2016/02/02, 2015/12/06, and 2015/12/06, and '開催中のイベント' (Events Being Held) with a grid of event listings categorized by '本日のイベント', '今週のイベント', '今月のイベント', and 'シーズイベント'.

This screenshot shows the 'エリア' (Area) page. It features a map of Japan with various regions highlighted in different colors. Each region has a corresponding list of cities: 九州・沖縄 (Kyushu/Okinawa), 中国・四国 (China/Shikoku), 北海道・東北 (Hokkaido/Tokai), 関東 (Kanto), 近畿 (Kinki), and 中部・東海 (Chubu/Tokai). Below the map, there is a section titled '人気の都市' (Popular Cities) with small images and names for Tokyo, Kyoto, Hokkaido, Aomori, Niigata, and Sendai.

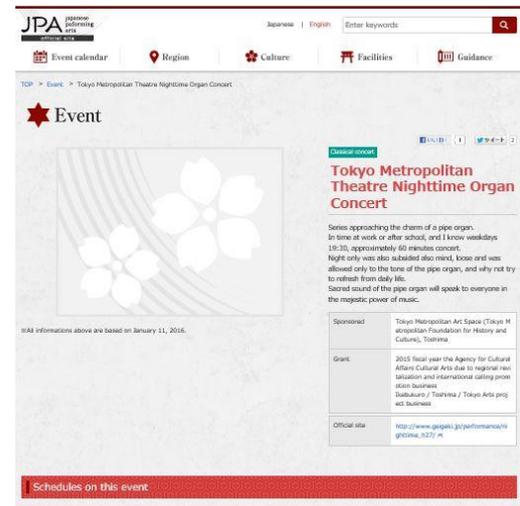
This screenshot shows the '文化' (Culture) page. It has a navigation bar and a main section with a grid of images and text. The grid includes categories like '伝統芸能' (Traditional Arts), '演劇・ミュージカル・ダンス' (Theater/Musical/Dance), 'クラシックコンサート' (Classical Concert), and 'コンサート' (Concert). Below this, there are more categories: '劇場' (Theater), '映画・大衆文化' (Cinema/Popular Culture), '武道・スポーツ' (Martial Arts/Sports), 'アート・芸術' (Art/Arts), and '文学・文藝・和歌' (Literature/Arts/Waka). At the bottom, there is a '生活' (Life) section with categories like '和服・ファッション' (Kimono/Fashion), '和食・食文化' (Japanese Food/Cooking Culture), '暮らし・風習' (Daily Life/Customs), and '日本家屋・建築' (Japanese Houses/Architecture).

4. イベントの参照

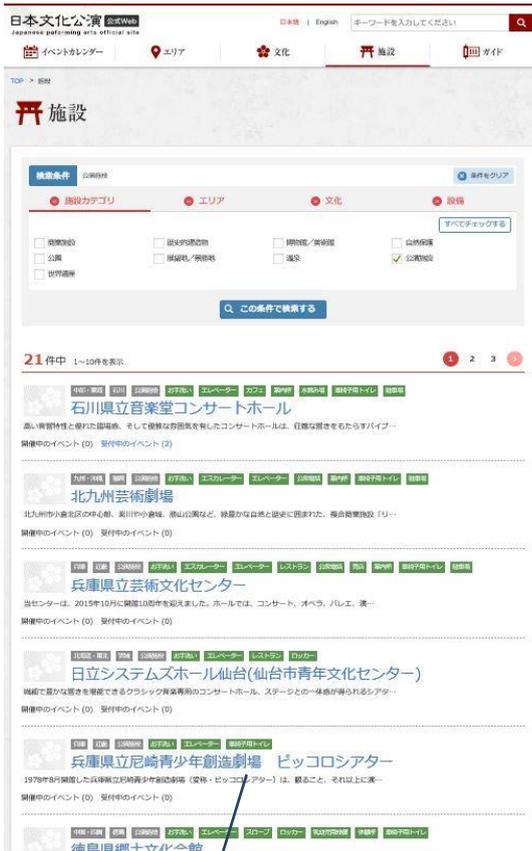
(1) イベントカレンダーから検索



2/25 をクリックして、イベント内容を
表示してみました。



(2) 施設から検索



「公共施設」で絞り込んで施設を表示してみました。これをクリックすると施設詳細が表示されます。



ここにこの施設を利用するイベントが表示されます。(クリックでイベント詳細表示)

Ⅲ 情報掲載および参照実証実験 報告

●主催者編

1. 概要

情報登録期間：2016年2月8日～3月8日

主催者機能を使って、イベント登録作業後にフィードバックを回答いただく。

(12件の回答受領)

2. フィードバック回答について

(1) システム機能面

基本的な機能について一定の評価をいただいたものの、機能的に不足している部分や操作導線がわかりにくいといったご指摘があった。

① 施設登録について

- ・劇場内に複数ホールがある場合の登録方法など改善が必要
- ・施設毎の画像フォルダなど検討が必要

② イベント登録について

- ・イベントとスケジュールを同一ページで作業したい
- ・ジャンルのカテゴリ選択は便利
- ・料金や日程などの要素と、主催者クレジットは別領域がいい

③ 画像登録について

- ・アップロードを行う場所や方法がわかりにくい

(2) 操作および運用面

イベント登録を行うとなると、その作業負担が大きくなることへ不安があるといった運用上の意見や、登録したものの反映確認がうまくできなかったといった報告があった。後者は、事務局による登録承認がされなくとも登録内容がプレビューできる機能が、マニュアルから読み取れなかったためと見られる。ついては、操作時の一般的なQ&A集の公開や、事務局のタイムリーな問合せ体制の構築などの検討が不可欠。

(3) コンテンツ面

『英語』のコンテンツ有無と作成実態について確認したが、ほとんどの主催者様で英語コンテンツは保有していた。ただし、英語コンテンツの登録については、英語だけでなく、日本語の項目併記が必要などのご意見をいただいた。(英語を意識しなくても英語コンテンツの登録ができるようにするため) 一方で、英語コンテンツを持たない主催者様では、『必要性・予算面』がその理由だった。今後、海外に向けた情報発信には、英語コンテンツが不可欠と見られるが、英語コンテンツを持っていないイベントについてどのようにしていくかは、検討が必要。

●ユーザー編

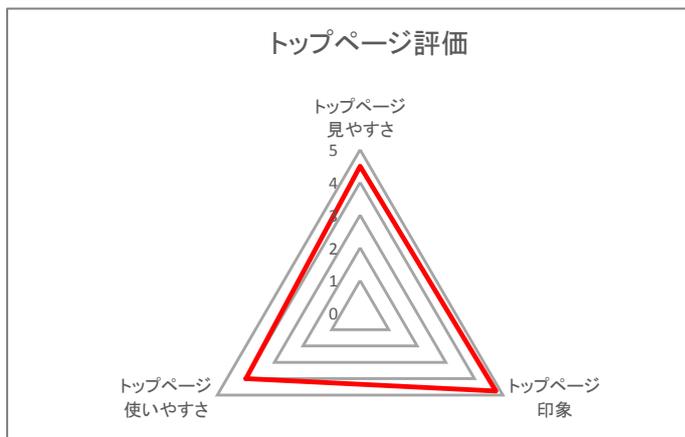
1. 概要

操作確認期間：2016年3月14日～3月28日

ユーザー機能を使って、登録済みのイベントを検索し、操作性やコンテンツ内容についてフィードバック回答いただく。(4件の回答受領)

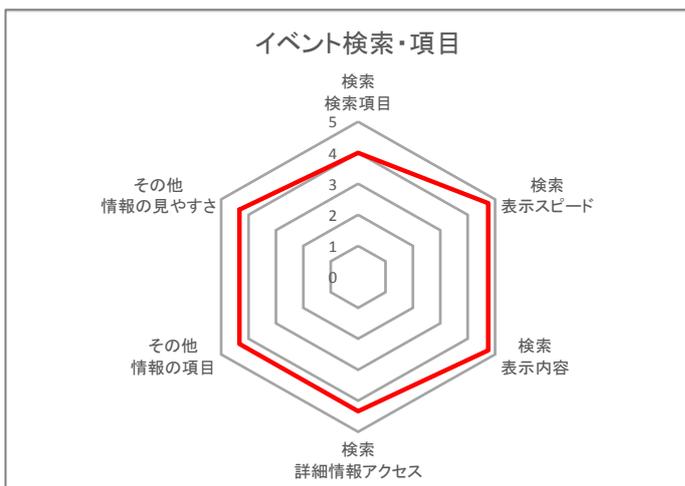
2. フィードバック回答について

(1) トップページ



特筆すべき点なし。
高評価を頂戴した。

(2) 検索



検索項目については、追加が必要と考えられる。
一方、表示内容については主催者側から追加項目等のご要望があったものの、ユーザー側では、現状の表示内容でも評価は良い。

(3) チケット販売他の機能について

チケット販売機能は必要で、初期段階でも販売サイトのリンクは不可欠と見られる。

IV 「公演情報の国際発信に関する調査研究」 考察と提案

1. 「多言語」として、まず日本語に加え「英語」を深く整備

- 日本語と英語の2か国語を整備、英語は正確な英語を整備

ニューヨーク、ロンドン、パリの調査において、観光情報は多国語で広い情報発信を行っている一方で、公演情報は主に自国語での情報提供にとどまっているものが多い。これは英語やフランス語がグローバルな言語であることも理由ではあるが、どの都市でも外国人の来訪比率は自国民ほど多くはなく、多言語での情報整備の必要性は感じつつも、費用対効果の観点から多言語化が難しいのが現状である。

そして、日本の主催者においては英語で情報公開を行っているところでさえごく一部に限定されており、まして外国人を対象に多言語で情報公開を行っているところはほとんど見受けられない。

一方、韓国においては近隣諸国を対象とした公演制作と言語展開を行い外国人比率が約半数を占める先進事例も見受けられるが、日本の主催者の海外からの来訪者誘致意向はまだ遠く及ばないのが現状である。

このような状況から将来的には日本の公演情報を多言語で発信することを目指すにしても、まずは日本語に加えてアジア諸国でも理解が容易な「英語」で日本の文化公演情報を発信することに注力すべきと考える。

- 英語は外国人目線から、日本人対象のサイトとは異なったものを整備

整備する英語の情報は、単純に日本語を英語に翻訳するだけでは不十分である。日本の公演に対する文化や生活背景が異なり、基礎知識を持ちえない外国人に対しては適宜補足説明が必要になりこともある。また強い印象や動機づけを提供できるためのクリエイティブ訴求も日本人を対象としたものと大きく異なることが予想される。

したがって英語の情報整備は日本語情報を基準としながらも、独自のものとして加工、編集を加えることが不可欠である。

- 英語以外の言語(中国語、韓国語、タイ語等)は、今後、ユーザーのニーズと費用対効果に鑑みて導入を検討
日本の公演への来訪者は、台湾や韓国を中心とした東南アジアからの来訪が今後増加するものと想定される。そこで来訪者や主催者のニーズと英語以外の言語整備の費用や労力などの負荷を照らし合わせ、その他の言語の整備を検討する。多言語展開の過程においては状況に応じて機械翻訳の活用も検討する。

2. 容易に入手できる環境の整備 ⇒ 「網羅性」と「検索性」

- 情報の網羅性: 整備する情報の範囲分野はユーザーの興味が多い分野に絞る(選択と集中)

整備する情報の利用価値を高めるためには、ユーザーの興味範囲に十分に対応できる広範な情報を網羅したい。しかし今回の調査研究から情報の収集、整備、そして英語情報の提供には非常に大きな負荷がかかることが明らかになったこともあり、情報範囲はまずはユーザーが強く興味を持つ分野に限定して、その上で充実した情報を用意することを目指したい。

- 容易な検索性: 欲しい情報にたどり着きやすい検索機能、階層・クリック数を少なく

海外のユーザーが日本の文化、公演情報を調べるときには、自分が欲しい情報にいかに容易にたどり着くことができるかが大切になる。情報サイトの階層構造や分類カテゴリー、機能デザイン、検索キーワードなどに工夫を凝らし、継続的に精度向上を図ることが不可欠である。

3. サイトに訪れ、「行きたい」と思ってもらうためのコンテンツ整備

公演情報を格納して検索機能を提供するだけでは、海外の人に「行きたい」と感じてもらうことはできず、サイトの利用価値は高まらない。公演の魅力を深く伝え、感銘を与えて行動に駆り立てることができる、「活きたサイト」として整備することが大切である。

- ・映像&画像 言葉で説明しなくても魅力が理解できるコンテンツの整備
映像や画像を用い、会場に自分がいるような臨場感や昂揚感などの提供を検討
- ・説明情報 日本の文化・公演がどのようなものなのか、海外用に説明する編集ページを整備
公演の歴史や背景、動向、キャストのインタビュー、専門家の解説などの掲載を検討
- ・人気コンテンツ 特に海外の人が興味、関心を持つコンテンツを前面に出しサイトへ誘致
視覚に訴えられるコンテンツ、日本の独自性の高い伝統文化、日本のポップカルチャーなど。
- ・誘致促進 各種PR活動において日本文化公演のキラーコンテンツを活用し、サイトへの広い誘致を図る
訴求用イメージビジュアルの制作、著名演者・キャラクターの露出活用の検討など

4. チケット購入機能は必須で、段階的な導入を検討

公演情報を提供するだけではサイト機能としては不十分で、公演に興味を持って「行ってみたい」と思ってもらった次には「自分が行くことはできるのか?」「どのようにすれば行くことができるのか?」を調べることができる機能は不可欠である。そして購入を決定したらすぐにチケット購入が可能となる仕組みを用意することが必要である。

- ・どのようにすれば公演チケットを購入できるのかを容易にわかるようにすることが重要
(検討事項例)
サイト上で日時・公演設定の後、空き紹介、座席指定、申込み、決済が完結するのか?
チケットの予約はオンラインや電話で行っても、購入と決済は会場で必要になるのか?
入場券は会場で引き換えが必要なのか?どのように購入証明の提示・照会を行うのか?
キャンセルや変更は可能なのか?キャンセル料は必要になるのか?
- ・段階的にワンストップで購入できる仕組みを整備し、販売と在庫状況を一元管理できる機能を付加することを検討
理想とするチケットの購入方法を研究・検討すると同時に、実現化のための障壁や解決しなければならない課題を明確にしつつ、段階的な導入方法を策定する。時間をかけて販売状況と実績を検証しながら、その次の段階のチケット販売の仕組みづくりを、必要に応じて変更や修正を加えながら推進する。

〈STEP〉 段階的導入の検討

- ①チケットインジェンシー、プレイガイドへのリンク、案内、紹介、誘導、
- ②問い合わせ、予約情報だけチケットサイトへ連絡(アフィリエイト)
- ③チケット販売: 特定数の在庫を主催者から提供してもらい販売
- ④チケット販売: 共通在庫の仕組みを提供し、当サイトにおいて自由に販売

5. 公演情報を国際発信している諸外国の優れた取組事例

- 言葉に頼らずに(言葉がわからない外国人にも伝わるように)、映像、画像を活用してインスピレーションを与えるもともと外国人の多いパリや外国人誘客に積極的なソウルなどでは、公演自体が言葉を必要としないものを制作(音楽、舞踊、アクロバット、サーカス、パントマイム等)。そして情報発信においては映像や画像によりサイト上での体験を重視し、言葉での説明は補足に止めている。日本の公演の情報発信では、公演の背景や説明のためには文章表現が必要だが、映像、画像、イラストにより感性に訴えられるものになりたい。
- (劇場など)歴史の積み重ねや過去の実績を表現し、prestige感を訴求
長い歴史を持つロンドンやパリの劇場などは過去に開催してきた演目や出演者の歴史を写真等を用いて紹介し、施設の品格と特別感を表現している。過去にさまざまな演目が上演されてきた場であることに對する想いを抱きつつ鑑賞を行うことで、公演はより一層味わい深いものとして体験される。
- アーティストのインタビュー映像などで公演情報を補足し、一層楽しめるコンテンツを提供
劇場での公演鑑賞では体験できないものを、サイトにおいて補完的に情報発信することで、公演自体をより深く楽しむことができる。出演者や製作者のインタビュー、出演者プロフィール、専門家による紹介、舞台美術の工夫などの周辺情報を充実させる。
- まず人気コンテンツ(売れやすいもの)を前面に出して、注目と関心を喚起する
サイトのユーザー視点から、人気の高いコンテンツ情報を集約してサイト内でのキラーコンテンツとして積極的に訴求して、サイトを広く、何度も利用してもらえるものとする。どのような情報が求められているかはサイトのアクセス分析やアンケートなどを通じて継続的に把握しつつ、コンテンツの編集と改善を進める。一方、人気コンテンツのチェックだけにとどまらず、サイト内で新たな情報の発見や関心の喚起を促していくための仕掛けを用意することも大切である。

6. 日本国内の公演情報を一元的に収集

- フォーマットを用意し、情報提供者に入れてもらうことを基本とする
国内の主催者等のヒアリングから、主催者や劇場で多くの情報を体系的に整備しているところはそれほど見受けられず、積極的な情報提供を要請するのは難しい。しかし公演サイトが自ら主催者に継続的に情報収集と更新確認を行うことには膨大な負荷がかかるため、ある程度の基本情報の定期的な提供は依頼したい。そこで提供してもらう情報の基本項目を用意したフォーマットを用意して、必要な情報を入力してもらうことを基本とする。
- 情報の確認、編集、独自ページの制作(公演カテゴリーの説明)は必ず必要
基本の情報を入力してもらった公演等の情報は、サイト情報として活用する前に確認作業が必要となる。入力や分類チェックのミスや期間・料金間違い、不適切な情報内容の排除など、IT ツールを活用しつつも人の作業により確認すべき作業が多く発生する。また収集した公演情報を補い、サイトユーザーにより強く魅力を訴えるための公演自体の解説や出演者の紹介などの編集ページを制作することは、サイトの構成として必須である。
- 情報収集管理と品質管理を徹底するため、専用の事務局機能、スタッフの用意が継続的に必要
継続的な情報収集と確認・編集・制作作業のためには、数人の要員が継続的に役割分担を行い業務を推進することが必要である。そこで運営管理の作業を効率的、効果的に推進するため、遂行すべき

業務を抽出・策定して組織業務として機能させ、事務局体制での運営を図る。

※海外事例では訴求力を高めるために、自社のコピーライターを登用しているケースもあり

サイトに掲載する情報は内容の正確性や鮮度だけでなく、ユーザーの感性に訴えかけられるようにトーン&マナーやブランディングに留意して、一定の表現品質を担保することが必要になる。そこで海外事例では独自情報の品質管理を徹底するために、外部への業務発注ではなく自社のコピーライターを登用している場合も見受けられる。

7. サイト等により国際発信する仕組みの構築方法

・PC サイト以上に、スマートフォン(タブレット)等のモバイル端末での活用を想定

スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末の利用は全世界的に加速し、時計やメガネ型のウェアラブル端末も登場している。今回のサイト開発においては、大きなディスプレイで多くの情報提供と機能提供が可能なPCでのサイト構築を基本として進めるが、ユーザーの実際の利用シーンとしてはスマートフォンを中心としたモバイル端末での活用を前提に開発を進める。様々な端末画面に合わせて単一の情報ファイルが自動的に最適化を図ってWEBサイトのデザインを調整して表示する手法(レスポンシブWebデザイン)などの活用も検討するが、PCサイトに比較して表示画面が小さくなるスマートフォンでの情報の掲出方法を慎重に検討する必要がある。

・ユーザーの所在地に応じ、近くの催事情報を案内する仕組みなども検討

サイトは日本国内でのモバイル活用が想定され(訪日旅行者等)、滞在場所の近くや行動予定先で、どのような公演の鑑賞機会があるかなどの利用ニーズが多くあるものと考えられる。そこでモバイル端末の位置情報や時計機能に基づいて(あるいはユーザーの任意入力設定により)、所定の位置や時刻に近い情報を優先的に表示するしくみの構築などを検討する。

・SNSでの情報拡散、CRMでのユーザー固定化

YouTube、LINE、Facebook、Twitter、InstagramなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用は世界的に広まり、有名人による人気コンテンツは特定のターゲット層に対して非常に大きな影響力を持つ。最終的なチケット販売までたどり着かなくても、情報の拡散や注目と話題性の喚起、ブランディング等のために、SNSの積極的な連携と活用を図る。

またサイトユーザーの繰り返しのサイト利用やチケット購入者のリピート購入を促すため、会員や顧客の情報登録を依頼し、メールマガジン等をはじめとした定期的なコミュニケーションと利用機会の提供を行うCRM(カスタマー・リレーションシップ・マネジメント)の活動を行う。

8. 段階的な導入

導入の障壁が低いものから段階的に導入～継続的な修正と改良を実施～順次導入範囲を拡大

主催者の積極的な情報提供を促して情報収集の流れを確立するため、またユーザーにとって利用価値の高いコンテンツ情報を発信してサイト利用を定着させるために、まずは導入障壁が低くサイト価値を確立できる用途に限定して、サイト開発を図る。時間を重ねるごとに実績を蓄積しつつ、一方で課題を把握して修正と改良を進めながら機能とサービス精度を向上させて、段階的に範囲(地域、主催者分野、時期、情報種類、提供機能など)を拡大する。

- ・まず催事情報の運営管理が比較的容易な公共の公演情報を集約して発信

売上確保のため人気コンテンツの販売が優先される民間企業は公演チケットの販売方法と経路がすでに確立されており、当サイトでのチケット販売枠の確保と積極的な情報提供を促すのが難しい。またあまり人気のない情報コンテンツの扱いを行っておらず、情報の扱いに偏りが生じる危険性もある。そこで主催者・劇場の分野に関しては、開始時に公共的な役割を担うところから導入するなどの検討を行う。

- ・外国人が強い興味を持つコンテンツに絞って集約・発信

ユーザーの積極的な利用と高い価値を早急に創出するため、まずは外国人が強い興味を持ち、チケット購入に結びつくようなコンテンツを集約して発信することを検討。公演の種類、訪問エリア、会場種別、時期や時間帯など、いくつかの視点から発信したい情報を洗い出す。

(※例:歌舞伎等のビジュアルインパクトの強い伝統芸能、アニメ等のポップカルチャー など)

歌舞伎の荒事(あらごと)や海外でも視聴可能な人気アニメなどは、すでに海外でも日本文化として関心が高く、またサイト内だけでなくサイト認知促進の各種プロモーションにおいてもビジュアルとしても注意を喚起しやすいため、有力コンテンツとなる可能性が高い。そして海外に対しては日本独自の雰囲気醸し出すコンテンツは外国人の期待感を高めることが予想されるため、積極的な利用を検討する。

9. 文化庁推進の意義とメリット

今回の海外調査でわかったことだが、国や市などの公共機関は観光情報を集約して一元的に情報を海外に発信している事例は多く見受けられても、公演や催事情報に限定した専門情報を包括的に発信している事例は存在しない。現在開発を検討中の文化庁サイトの開発に向けては、継続的な情報収集のしくみ構築や、人気コンテンツのチケット確保、公演情報の公平性担保、事業収支のバランス化など推進課題は多く存在するものの、大きなユーザーメリットが期待されるため、海外の各団体などからの注目も高い。そこでサイト開発に先立ち、改めて当サイトの位置づけを明確にして、その在り方を定義すべきである。

- ・日本の文化・公演情報のオフィシャルサイトとして、総合的に誰にもメリットがあるポータルを作ることができる

民間企業の運営サイトではないため情報内容に偏りがなく、公平性を担保しつつ一元的な広い情報の掲載が可能となる。

- ・単独主催者では限られている、スケールメリットによるユーザーバリューの提供

ユーザーにとっては当サイトを訪れるとワンストップで日本の公演情報を俯瞰、検索できるため、ポータルとして高い利用価値を創出できる。

- ・単独主催者では無理がある、共通在庫管理システムの整備の可能性あり

事業規模が大きくはない企業や団体にとっては、独自の投資によるチケット販売や在庫管理のシステム投資を行うことは予算的に難しいことが多い。今回の文化庁のサイト整備の一環として共通の在庫管理システムを整備することも検討され、その場合には個別の主催者や劇場に自らが用意すべき在庫や販売管理のシステムを無償に近い形で提供することになる。サイト整備を核として、公演に関連する団体の支援が可能となり、日本の文化振興を促すことにつながる。

10. 収集・発信すべき公演情報の内容

(1) 情報区分と団体の想定

海外のユーザーにとっては大切なのは、自分が日本に滞在している間にどのような公演機会があり、どれに実際に行くことができるのか(チケットを購入できるか)ということである。公演の主催者団体がどこであるのかは重要ではない。しかし情報収集の運営サイドの視点に立てば、まず継続的に情報を提供してもらう仕組みを構築することが重要で、そのためには各主催者と強い関係を築き情報入手の業務を確立して、その後にそれぞれから集約した公演情報を内容ごとに再編集する必要がある。そこで今後、実際のサイト開発・運営にあたっては、国内団体の網羅的な情報の整理と、関係構築の優先順位づけた後のアプローチが必要である。

- ・情報収集先の「団体」を抽出し、それぞれがどのような「公演情報」を提供・発信が可能なのかを整理する
種別(主催者、プロモーター、文化施設など)ごとに、具体的にどのような団体があるのかを、それぞれがどのような公演を行っているのかと合わせて把握する。公演情報が持つインパクトを個別に評価しつつ、特に協力を仰ぎたい団体の優先度を確定する。
- ・情報提供もとなる各種団体との関係を構築し、継続的な情報提供の仕組みをともに構築
関係構築を優先する団体と具体的な協議を進め、積極的な情報提供を阻害する障壁や課題を明らかにして、その解決策を検討し、どのような条件であれば情報提供が可能となるのかを具体化して推進計画を策定する。
- ・各団体が実施し提供する催事、公演の分野や内容は、今後変化していく可能性がある
各団体が提供する公演情報はあくまでのその時点での開催情報であり、今後撤退や新たに参画する分野が発生する可能性を十分想定の上、先の展開も見据えつつ収集していく中長期の情報内容の想定を行う。また並行して、新たな公演制作・提供団体が発生したときにはサイトへの情報提供を依頼する必要がある。

② 参画と情報提供を積極的に促す、優先すべき団体の基準

当サイトへの積極的な情報提供を優先的に依頼する団体を、以下に検討する。具体的な団体の抽出は別途検討が必要となるが、今回の調査研究により想定する仮説として、開始時に参画依頼を行う。

< 優先度評価の基準 >

- ・情報を提供してサイトメリットが大きくなる場所(サイト存在感の増大)
- ・主催者(情報提供のサプライヤー)のメリットが大きくなる
= チケット販売を見込むことができる、集客増が期待できる
= 業界内や関連団体へのPR効果、プレゼンス拡大を見込むことができる
- ・ユーザーのメリットが大きくなる
= 海外で人気のある日本のコンテンツ情報を提供できること
= 日本のオリジナルコンテンツ(伝統芸能、日本のポップカルチャーなど)に触れるチャンスを提供すること
- ・情報提供の作業負荷が少ない、現場対応の負荷が少ないところ

<優先度想定>

ユーザー サプライヤー	外国人の関心が高い	外国人の関心が高くない
情報提供に積極的	歌舞伎の荒事等の他、海外販売に積極的な POP カルチャー等 ⇒キラーコンテンツとして強く訴求	地方公演、海外での知名度の低い分野など ⇒ 地方観光とのセット提案での誘致、公演分野説明ページでの訴求等
情報提供に消極的	海外ですでに人気の高いアーティストやアニメ系の LIVE 公演など ⇒チケット販売協力の検討を依頼	外国人に向かない・集客が見込めない公演等 ⇒サイト整備状況に応じて、情報掲載の必要性を検討

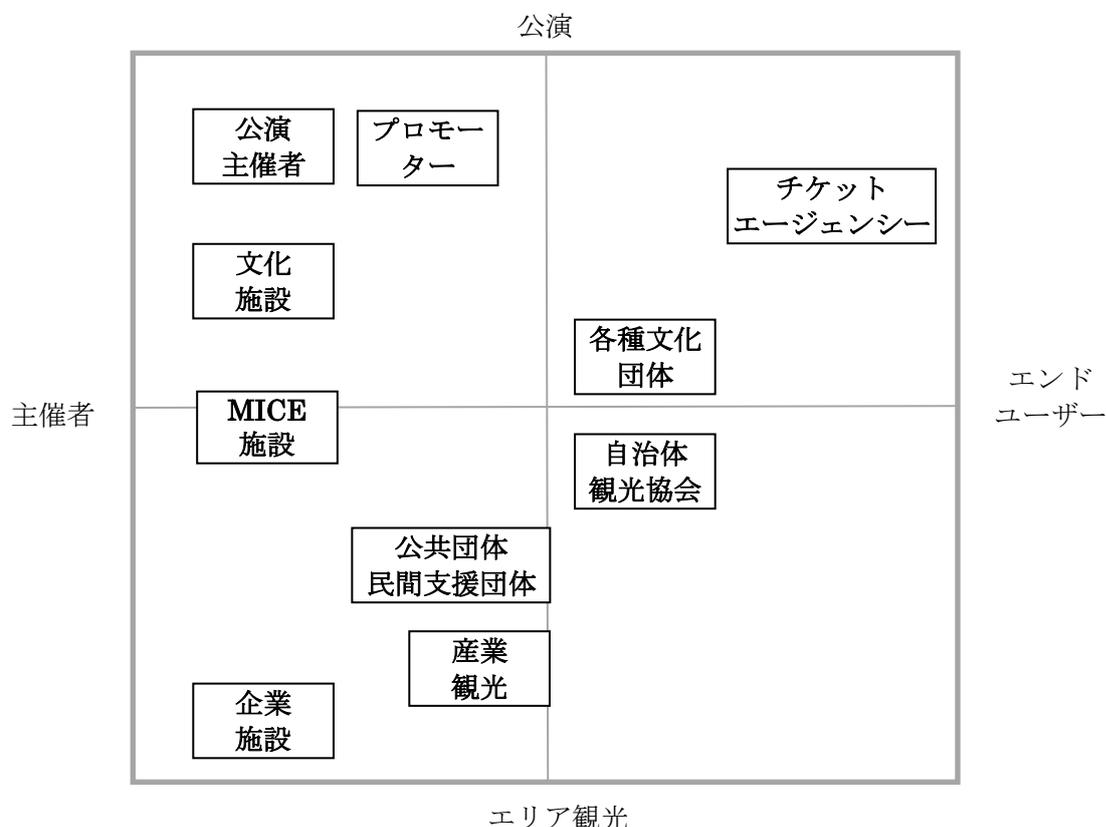
※外国人の関心が高く、情報提供に積極的な公演を開催する主催者等にまず参画を依頼する

③ 具体的な情報収集候補の洗い出し

具体的な情報収集の候補の洗い出しに先立ち、まずどのような種類が存在して、どの分野を特に優先するのかを検討する。

- どのような団体がどれぐらいの区分の情報を扱っているのかを把握しつつ、情報収集の主催者を抽出する
- 同一の情報を異なる立場で扱う場合も多いため、どの立場の情報を集約すべきかを検討
- 公演主催者 •自治体、観光協会 •各種文化団体 •プロモーター
- チケットエージェンシー •文化施設 •MICE施設（展示会場、文化劇場）
- 産業観光（工場見学、施設バックヤード等） •企業施設（ショールーム、博物館等）
- 公共的な意義を理解し、普及、振興活動に協力が期待できる公共団体、民間の支援団体

<サプライヤーの分類想定>



※まずは公演情報に特化させ、また自らが公演制作を行っている主催者の立場の団体を優先させる。
公演主催者、プロモーター、文化施設を対象に、具体的な団体名の抽出を今後網羅的に行う。

(2) 情報内容の方向性

① 情報の深さと網羅性の優先度合い

ユーザーにとってはサイトには幅広い情報がそれぞれ詳しく掲載されており、それをユーザーの意向に応じて容易に検索できるものが理想である。しかしその整備のためには非常に多くの費用と運営負荷が必要になるため、情報内容の選択と集中を図りながら、団体的な推進を図る必要がある。

・偏りのない多くの情報の網羅性と個別情報の深さをどのようにバランスさせるかがポイント。

→網羅的な情報掲出のため、内容はまず必要十分なものに絞って収集

【深い情報提供の基準】

- ・強い訴求力を持つので、編集情報として敢えて深く追加で編集して掲出
- ・2・3次利用としてプラス情報をスポンサード枠として用意することを検討
- ・ボタン、リンクの用意など(特設ページ=特集、広告対応を検討)

② 検索機能の内容

・多くの情報から利用者が必要な情報を抽出するためにどこまで「検索機能」を強化させるかがポイント。

ディレクトリーでクリックにより絞り込んでいく構成と、フリーワードによるキーワード検索を並行させる。

ディレクトリーの項目は多く設定しすぎると、特に海外ユーザーにとっては混乱を生じさせる危険があるので適度な項目設定を行う注意が必要。

キーワード検索に関してはキーワード自体が思いつかない可能性もあるため、キーワード設定のためのサポート情報を提供することも検討する。

③ 運営負荷に配慮した情報項目の絞り込み

・主催者が行う情報提供、収集した情報メンテナンスの負荷を軽減するための情報絞り込みがポイント。

ディレクトリー項目を多く設定するためには、個別公演の種別チェックが必要となり、それにより主催者や運営事務局の負荷が大きくなる。運営視点での項目絞り込みの注意も必要である。

④ 催事情報の範囲の検討

・名称、日時、地域・場所、開催施設、分野、プログラム概要、主な出演者、料金、チケット入手方法 ほか海外からの来訪者にとってはまずは特に日時、場所が重要になると思われるが、詳細は別途検討が必要。

⑤ 周辺・関連情報の範囲の検討

・アクセス、宿泊・食事、ショッピング情報、周辺観光情報、天気予報、渋滞予測、口コミレビューサイトリンク ほか公演場所に行くため、行ってからの役立ち情報を順次整備する。都市部でなく地方会場への誘致を促すときには、これらの情報を充実させることが大切になると想定される。

11. サービスレベルの多層化

- ・二次・三次利用として求められるサービス(情報他)の規定
 - ・情報の追加収集、加工編集の必要性の検討
 - ① データ販売の可能性は想定されるがニーズは把握できていない
 - DB 格納のローデータの CSV 等での販売
 - 購入者のリクエストに応じて、DB データを抽出して販売
 - ② 翻訳済みの英語情報の代理店等への販売、主催者等への提供(戻し)の可能性はあり
- ※今回の調査研究においては、明確な利用意向は把握できていない、追加研究が必要

12. 二次・三次利用のための手続き

- ・サービス規定、利用案内 サイト公募、事務局連絡、利用受付と審査、サービス提供
 - 日本においては欧米以上に権利関係の承諾が必要、二次・三次利用に向けて大きな課題
 - 用途別承認が必要で、事前の権利元許諾の方法を定義する必要
 - (二次・三次利用を見込みにくい現状:旅行会社)
 - パッケージ旅行に組み込み販売するため、公演料金や必要以上の詳細情報は不要

13. 利用対象の想定

- 今回の調査研究においては明確なニーズは見受けられない、追加研究が必要
- BtoB での団体予約など、チケット販売を前提とした代理店機能のニーズは想定される

14. 情報システムのセキュリティー対策

(別途記載予定)

15. 公演情報を収集・発信するシステムの整備・運営に要する体制及び経費

- ・公演の主催者等が自主的に公演情報を提供する仕組みとインフラ整備
 - ・公演情報を日本語以外の言語に翻訳する仕組み
 - ・発信情報の収集・活用を通して情報システム等の運営経費を賄う仕組み
 - 主催者からの収入確保は見込めない
 - ユーザーへのチケット販売に伴うコミッション確保が収入源
 - <方法案>
 - ① 文化庁のコスト負担による公共的なサイト整備
 - ② チケット収入による費用補てん
- ※現段階では協議会会費、協賛金等での収入源はまだ見込むことができていない

【参考インタビュー】「一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会」の運営状況について

このたびの調査研究においては望ましい運営体制、経費負担方法等はまだまだ見込むことができていない。そこで訪日観光客も対象とし、訴求活動が類似すると考えられるショッピング業界に対して以下の追加調査を実施した。

■インタビュー先

一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会 (JSTO)

■公演情報の国際発信、およびテスト Web への意見

- ・昼は観光を行い夜にエンタテインメント等を楽しみたいという需要はあるが、遅くまで開いているところが少なく、提供できていない。そのため、このような公演情報の国際発信はととても望ましい。
- ・情報を見ることができるのに加え、チケットイングと集客が課題になるのではないかと。
- ・多言語化の費用などで、コスト負担が大きくなるのではないかと。
- ・ショッピングの場合も日本人が主体の客であることは変わりがなく、外国人を主な対象とすると夜の集客のみに偏り、厳しいように感じる。
- ・サイト立上げの初期段階はおそらくアクセス数も少ないため助成金等での運営支援が必要で、一定のアクセスを確保できた段階で協議会等の運営形態を検討するのがよいと考える
- ・サイトのプロモーションは、ショッピングツーリズム協会とも連動できると思う。

■一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会について

○設立と運営資金

2013年に設立。JTB、JCB 他 12社が設立当時正会員となり、現在 22社に増えている。各社が年間 100万円の会費を支払っている。

準会員は 100社程度で、年間 30万円の会費。

現在会費収入は 5,000万円程度。

また公示案件の受託により 5,000万円程度の収入を確保して、Web サイトのコンテンツ充実を図り、運営を行っている。

○組織

専任の要員は 5人、他は兼任の要員で構成された運営体制。

プロモーション部:	海外プロモーション
おもてなし推進部:	マッチング紹介
WEB コミュニケーション部:	JAPAN SHOPPING NOW の運営
事業推進・広報部:	地域連携、小売店対応
事業企画・総務部:	経営企画、会員管理

○会員メリット:

最新情報、業界動向の共有、会員向けセミナーの開催等。正会員には議決権を付与。

会員にとって最も重要なのは、会員相互の関係を構築できること。プラットフォーム機能として事業連携を進める場として機能している。大義を大切にしており、ミッション、ビジョンに賛同して参画してもらっている。

1. サイト等情報の発信手法、及び将来的な自立化に向けた事業体制

(1) 優先度の高い項目

- ・情報の投入と更新が容易且つ高頻度に行える機能
- ・外国人にとって魅力あるコンテンツの絞り込み
- ・感覚的に操作が可能な機能と内容
- ・ストレスなく入場券購入が可能な機能
- ・情報の2次利用が可能なデータベースとインターフェース

(2) 優先度中位の項目

- ・一定量の同時アクセスに耐え得る機能
- ・高品質なCRMを可能にするデータベースとBI機能
- ・高い機密性を維持するセキュリティ

(3) 優先度の低い項目

- ・日本語と英語以外の多言語対応
- ・情報の網羅性

(4) 推進体制

- ・管理者要員:1～2名
- ・情報管理及びサイト管理担当の事務局要員:3～4名
- ・営業担当の事務要員:1～2名

(5) 構築プロセス

- ・開始時はエリアとジャンルを限定してスタートし認知向上とブランド力を高める
- ・構築時はエリア拡大とジャンル拡大によりボリュームを拡大する
- ・完成時は情報の多様性を高め社会的価値を高める

2. 分析時の評価項目

(1) 発信力

①情報の多様性

	開始時	構築時	完成時
エリア	首都圏のみ	三大都市圏	全国
時期	特定の一か月程度	通年	通年
分野	特定の娯楽分野	娯楽分野全般	全分野

②情報の絞り込み:

	開始時	構築時	完成時
情報量	100件以下	300件以下	無制限
基準	厳格	厳格	無制限

③ユーザーへの伝わりやすさ

	開始時	構築時	完成時
外国語	日本語/英語	日本語/英語	日本語/英語
障がい者	読み上げ機能付加	読み上げ機能付加	読み上げ機能付加
デザイン	シンプル	シンプル	エクセレント

(2)機能性

①ユーザー操作性

	開始時	構築時	完成時
操作容易性	シンプル	シンプル	シンプル
リンク数	少数	少数	無制限

②主催者の操作性:

	開始時	構築時	完成時
情報入力	運営者中心	運営者+主催者	主催者中心
管理工数	多量	中量	少量

③付加機能:

	開始時	構築時	完成時
チケット購入	一部のみ付加	全て付加	全て付加
SNS連携	全て付加	全て付加	全て付加
物販機能	なし	一部のみ付加	全て付加

(3)収益性

	開始時	構築時	完成時
収益性	低い	高い	高い
受益者	少ない	多い	多い

※段階的稼働におけるシステム概念について

1. システムコンセプト

- (1) 公演情報DBは、情報の『2次活用』等の柔軟性を担保するために、日本公演情報Web専用では無く、独立したDBシステムとして構築する。
- (2) 日本公演情報Webは、最終形への到達(完成時)を情報収集と認知度の向上を勘案して東京オリンピック開催の前々年度中(2018年度)とする。
- (3) また、それに向け2016年度より段階的に機能を付加し、合わせて保有情報の範囲を拡大する。
- (4) システム基盤は、「段階的稼働」を考慮して、拡張性を重視した構成にする。

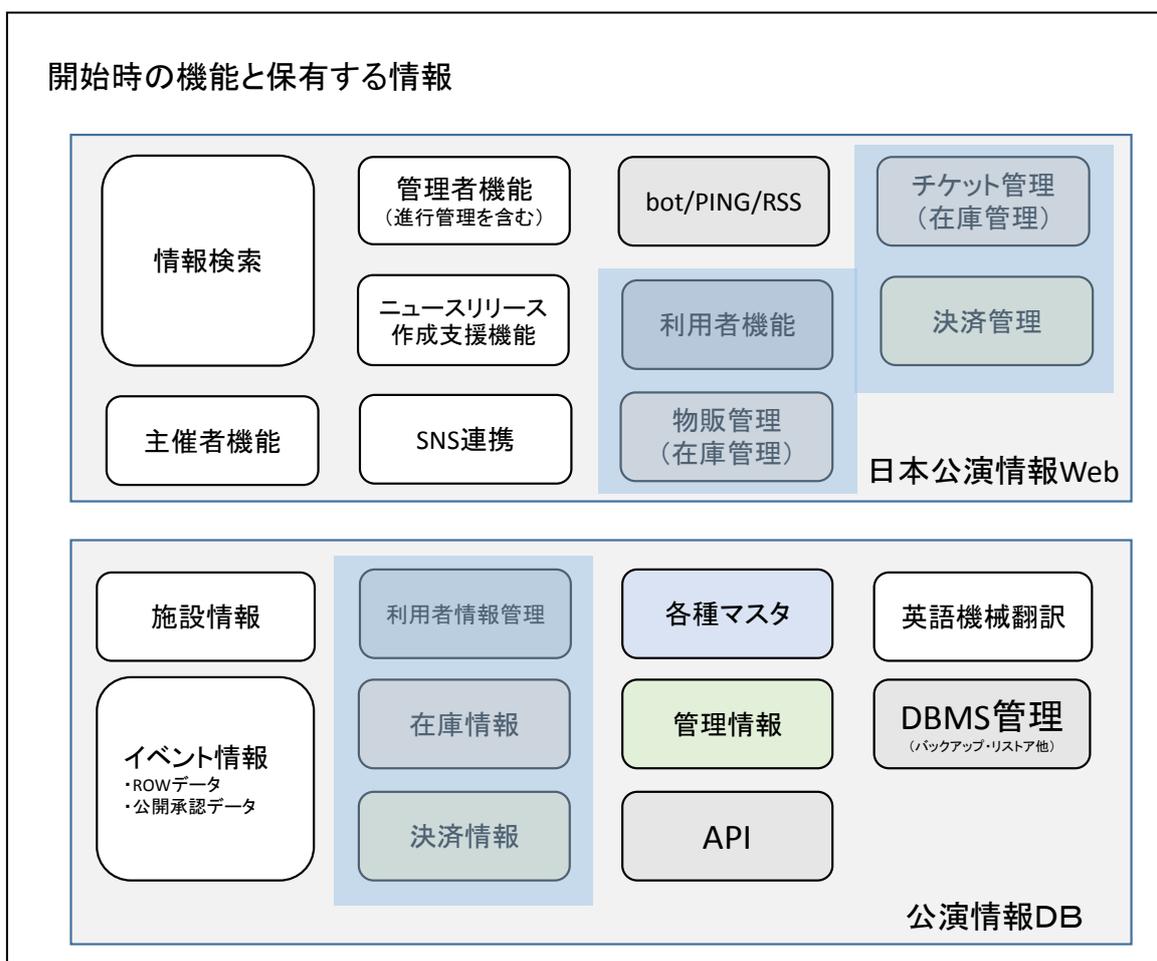
2. 稼働フェーズ(案)

フェーズ	開発着手 (From)	開発完了 (To)	備考
開始時	2016年6月	2017年1月	日本公演WebとDBの基本形を製作する
構築時	2017年4月	2018年2月	自前のチケット販売・在庫管理を付加する
完成時	2018年6月	2019年1月	決済機能を付加する

3. 用語解説

- bot : ロボットの略称で、本サイトでは、URL登録済みの主催者サイト等の変更を自動巡回してDB化するとともに管理者に伝える機能のこと。
- PING : 主催者サイトやブログなどがPING送信を行っている場合、PINGサーバーが自動でサイト更新を感知・取得し、知らせしてくれる機能のこと。
- RSS : リッチ・サイト・サマリーの略称で、本サイトでは、Webサイトの更新を公開するための機能のこと。利用者は、RSSリーダーでコンテンツの更新内容を知ることができます。
- API : アプリケーションインターフェースの略称で、外部システムとのデータ交換のためのデータ様式や手順を定めたもので、多種多様な外部のWebサイトやアプリケーションから、統一された仕様でデータの取得や登録を可能にします。
- DBMS: データベースマネジメントシステムの略称で、ソフトウェアからの要求に応じてデータベースの操作を行う専門のソフトウェアのこと。本サイトでは「DBMS管理」として、バックアップ&リストアの機能を付加します。

【 開始時 】



※利用者機能・チケット/物販管理・決済系については、次フェーズ以降で開発する。

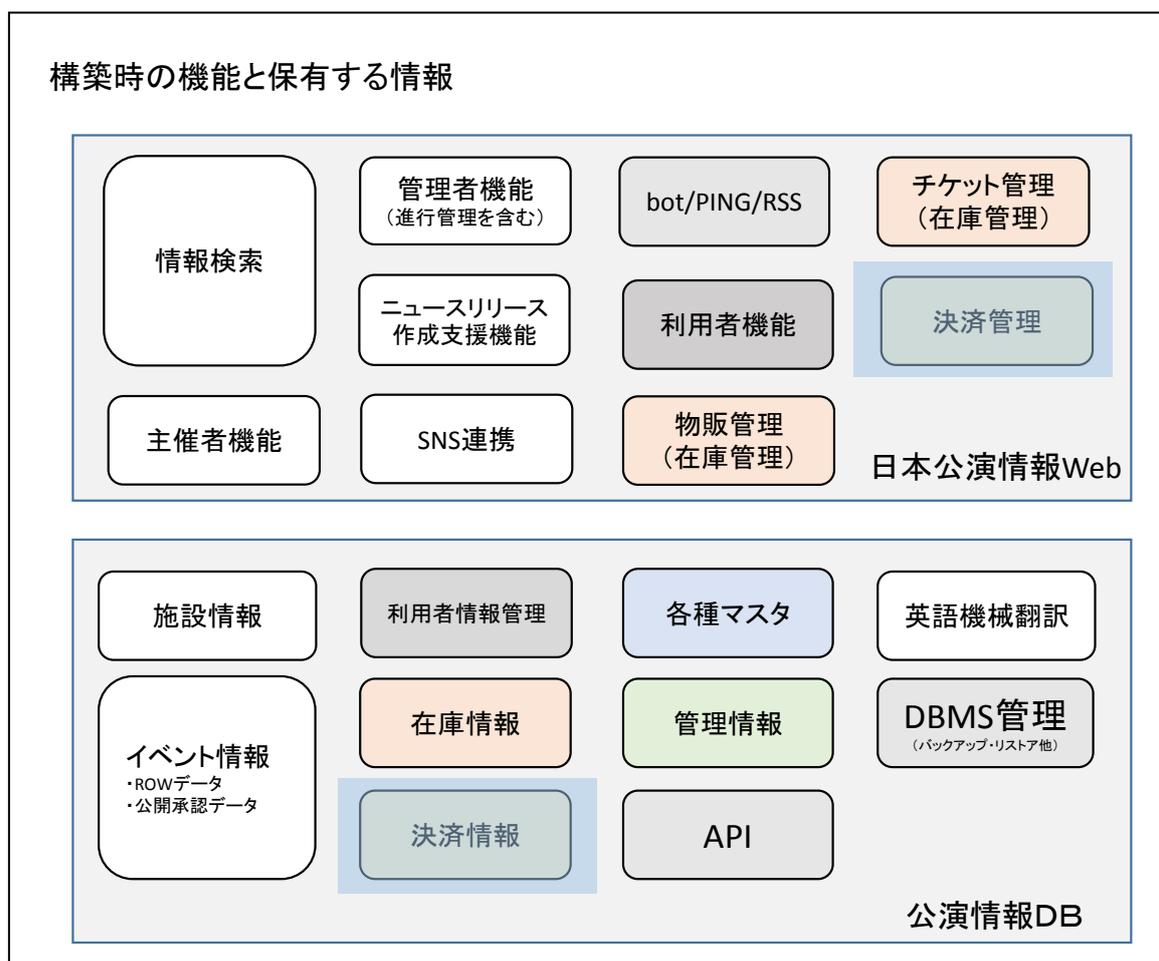


Web・DB とも今後の基盤となる基本的な機能の開発を中心に行う。

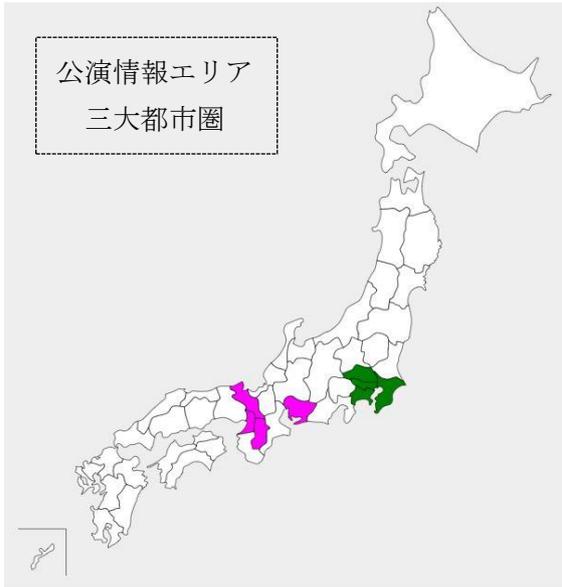
この時点での「チケット販売」は他のチケットサイトへのリンクのみとする。

※ニュースリリース作成支援機能は、公演情報の Web 掲載をニュースレター化することで、外部のニュース PR サイトへの頻繁な投稿を促すようにします。

【 構築時 】



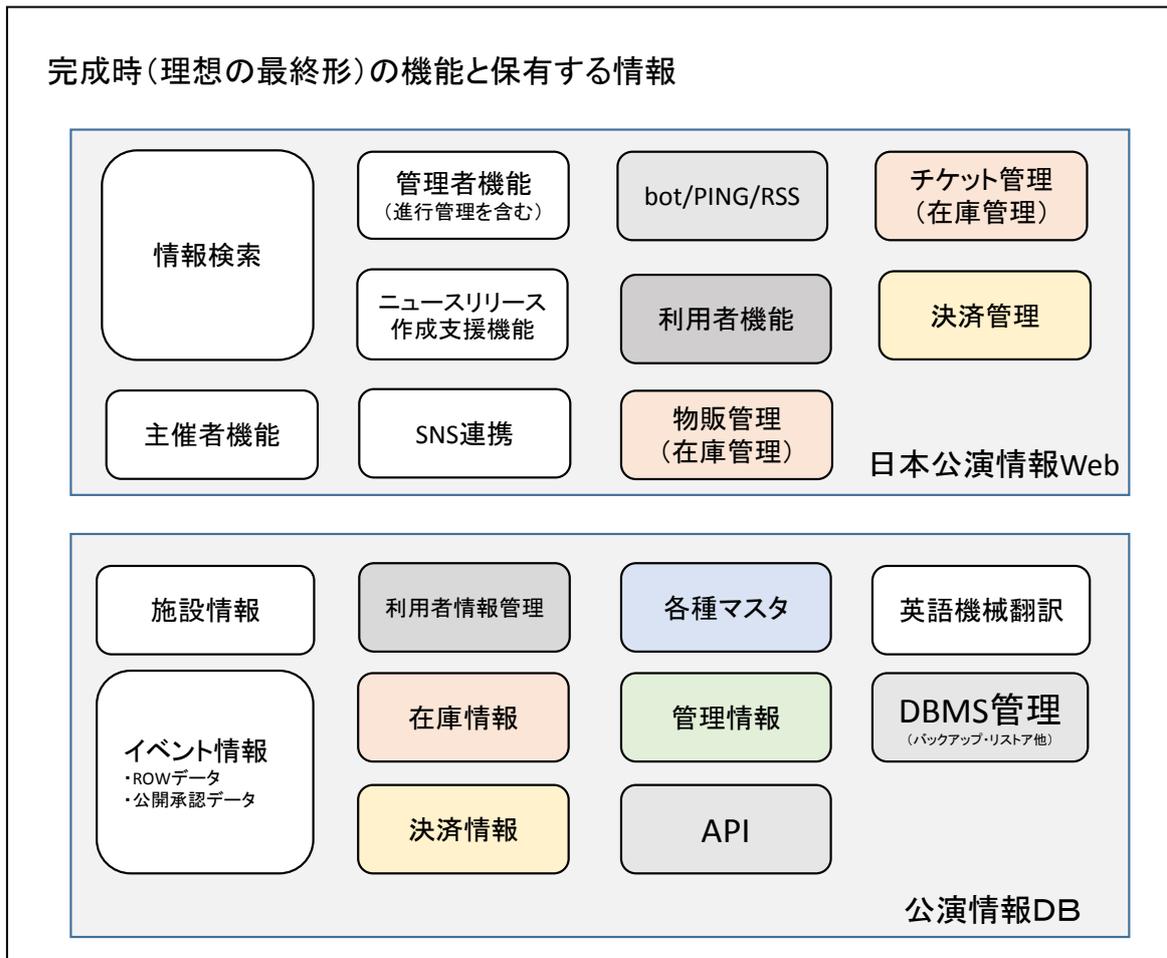
※決済系については、次のフェーズで開発する。

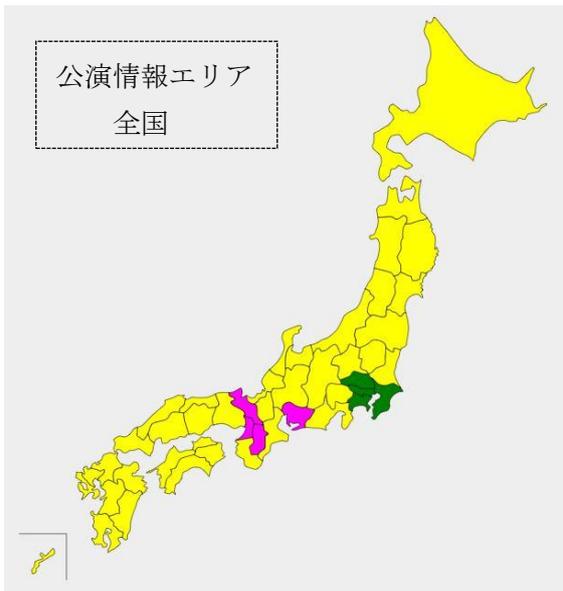


開始時の機能に加えて、チケット管理（販売と座席在庫・チケット発行）と物販管理（販売と商品在庫管理）および、その双方に共通する利用者管理（会員管理をどこまで行うかは別途検討要）の開発を行う。

この時点では、「チケット販売」のリンクは無くなるが、主催者からの在庫の提供が不可欠。（主催者側から見ると在庫の一元管理が実現できれば良いが、ハードルは高い。）

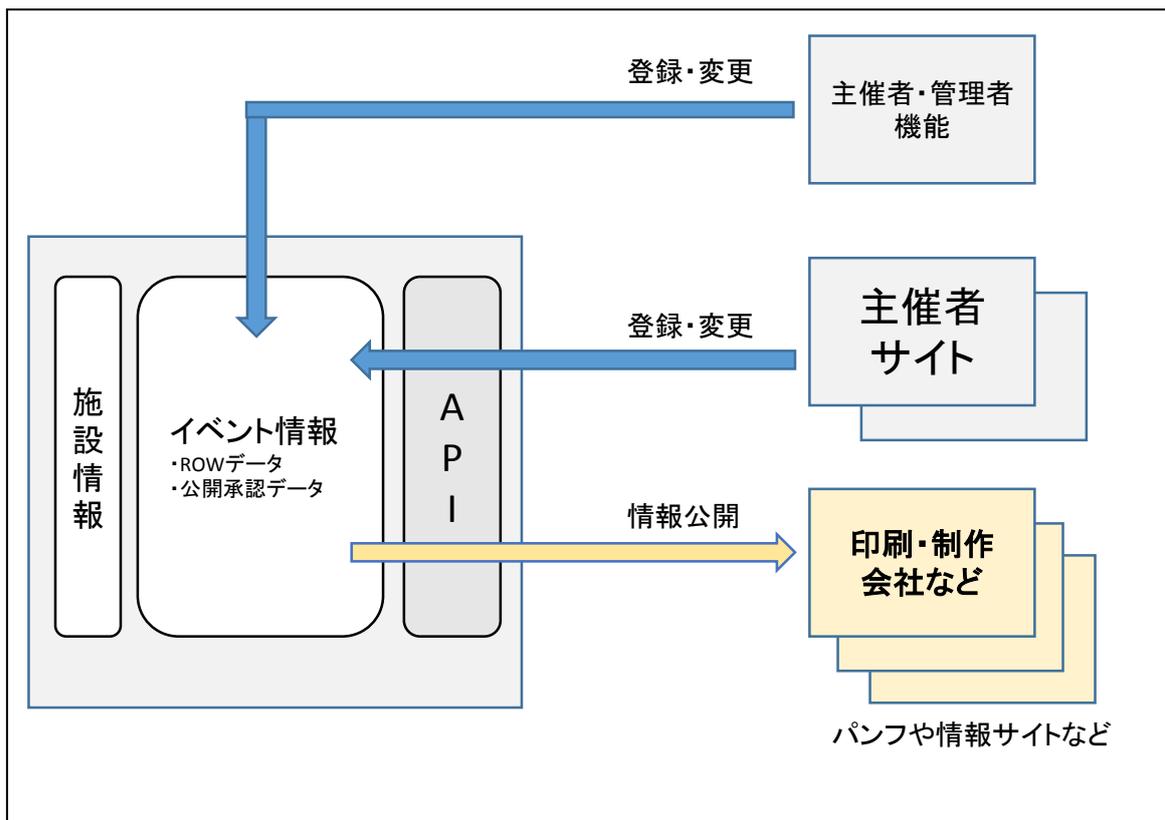
【 完成時 】





構築時の機能に加えて、多様な決済管理機能をもつことで完成とする。ただし、開始時から2年が経過しているため、2020年東京オリンピックに向けてWebの見せ方など『情報検索』を中心にそのときの時流に合わせた修正や利用者の声の反映も合わせて行う必要があります。

【 公演情報の2次利用イメージ 】



API を通じてのイベント情報(公演情報)の 2 次利用

1. 情報の収集

- ① 日本公演情報 Web の主催者および管理者機能で、イベント情報を登録する。
- ② 主催者サイトに API を利用したイベント情報の登録協力を依頼する。
 - その際、主催者サイトの更新は、「bot」を用いて主催者サイトを自動巡回することで更新を自動検知し、運用で自動取得した情報の清書を依頼する形式になります。
 - また、主催者に API との接続環境を構築いただければ、自社サイト更新とともに公演 DB が更新されることとなり、については、日本公開情報 Web にも同時更新される環境が整います。

2. 蓄積したイベント情報の提供

- ① 情報拡散のための提供をパンフレットの印刷会社や他の情報 Web 提供会社に対し行う。
 - API を利用した提供を行うことで、情報の取得者が自分たちのスケジュールに合わせての情報取得が可能になり、取得側の利便性向上につながります。
 - また、情報を利用した多様なサービスの展開が可能になります。例えば、スマートフォンアプリ化や地方イベント会社による地域特化型イベント情報サイト、チケット販売のアフィリエイトサービス、海外による日本情報サイト、GPS を利用した近所の情報検索アプリなど、蓄積した公演情報の利用方は多岐に渡ります。

「公演情報の国際発信に関する調査研究」情報掲載実証実験 フィードバックサマリー(主催者)

No.	劇場名	1. 施設登録に関する登録と発信について(評価や課題等)	2. イベント登録に関する登録と発信について(評価や課題等)	3. 画像データに関する登録と発信について(評価と課題等)	4. 英語データの登録に関する可否その他の課題について		
					英語データの有無	英語データの制作	課題
1	ミュージアム川崎シンフォニーホール	・アップロードした写真が他施設と一緒に格納されていて探しにくい。 ・検索機能と併せて各施設ごとのフォルダなどがほしい。	・当初イベント基本情報とイベントスケジュールの入力の関係性に迷ったが、理解できると、イベント基本情報とスケジュールがそれぞれで登録できるので、考えられた仕組だと感じた。 ・イベント登録と同じページにスケジュール登録もまとめてほしい。別ページに移動するのは作業が煩雑になる。 ・サイト表示に関しては、投稿の承認待ちでしたので、確認できていません。	・施設のメイン画像がボケたように表示されるので、違う画像を使用しても改善されない。 ・アップロードしたものが、表示されない。 (複数で作業したが、人によっては問題なく表示されたというスタッフもあり)	有	内部制作	日本語と英語両方の入力をしなくてはならない工数が大変である。 すべての公演を登録するのにか否かにもよるが、主催だけでも年間100程度、貸館も含めると膨大な量になってくるため、ホール側だけで入力する事への不安が多分にある。
2	可見市文化創造センター ala	「アクセス」より、「イベント情報」を上にしたほうが、見やすいのではないかと。 施設ごとのようなホールや部屋、スペースがあるのか分かったほうが良いのではないかと。 客席図や最大収容人数などもわかると良い。	イベントカレンダーの「月間」は公演タイトルが出たほうがわかりやすいのではないかと。また、ジャンルでソートできるのと良い。 イベントカレンダーの「シーズン」のソートは必要性を感じない。 イベントステータスは設定により、自動で変化していくのかわからなかった。 イベントとイベントスケジュールを別々に登録する形になっているが、一緒になると登録しやすい。 イベントの公開日程の設定もあとと良い。 チケット料金もあつたほうが良いのではないかと。	施設登録の写真アップロードのやり方がわかりづらい。 イベントの写真は複数枚登録できると良い。	無	—	英語データを正確に確認できる職員がいない。 外部委託するにも予算的な課題がある。
3	彩の国さいたま芸術劇場	・劇場内に複数ホールある場合も少なくないため、それが反映できるようなフォーマットが必要と思われる。	・イベント登録とイベントスケジュール登録は、ひとつの画面で入力できるようにしたほうが、どの欄にどの項目を入力するのかわかりやすいし、入力漏れを起しづらいと思われる。	・アップロードの容量が8MBというのは、小さすぎるのではと思われる。あるいは、アップロードする1つのデータの容量をある程度指定していただく必要があるかもしれない。	有	内部制作	・英語情報は、出演者名、曲目/作品名、チケット料金、主催者等名義については内部制作で対応できると思われるが、公演内容紹介文となると難しく、外部委託しても芸術文化全般に精通している業者でないといふ不適切な訳文になる恐れがある。
4	出雲市民会館	地域別、施設別に登録一覧表示される点が便利だが、反映されていなかった。	ジャンルのカテゴリを選択できるので便利。 オフィシャルサイトへのリンクを張るならもっとシンプルでもよいのではないかと。 承認後の編集はできるのでしょうか。	施設の画像登録をしたが、プレビュー画面で表示されなかった。	有	—	英語データを掲載する予定はなく、翻訳する予算もしていないし、今後行う見込みもない。
5	りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館	施設の写真がうまく登録できませんでした。	マニュアルを見なくても簡単に登録できるようになるといいと思います。	施設の写真がうまく登録できませんでした。	無	—	
6	水戸芸術館	全体的にはわかりやすくデザインされていると思います。 アイコン表示については、その下にテキストでも説明を入れると良いかなと思いました。「車いすトイレ」とか(アイコンの種類が多いので)ところでサイトの英語名の「paforming」のスペルは正しいのでしょうか??	イベント情報と開催期間の情報を別で登録するのが面倒です。 それ以上は承認待ちのままなので確認ができませんでした。	ブラウザの問題ですが、chromeでAuto Pagerなどアドオンを使っていると、アップロード画面に不具合が出ます。 ちょっと重いのも気になりました。 コピーライトの表記なども工夫が必要かと思っています。	有(△)	外部委託(△)	英語ページは、例えば日程と演奏者と曲目と料金情報だけでアップできると良いのではないのでしょうか。それなら翻訳の必要がほとんど無いので。
7	世田谷パブリックシアター	・「公開」のボタンが押しやすいところにあるので「承認待ち」の前に「公開」を押してしまいがちになります	・スケジュールのプレビューが見られず不安です ・料金や日程などの要素と、主催者クレジットは別スペースに記載されていた方が、お客様が情報を取りやすいかと思っています	・メイン画像の解像度がプレビューで観る限り低いようです ・写真に撮影者のクレジットを入れられるとありがたいです	有	外部委託	・特にありません
8	石川県立音楽堂	登録情報が反映されない?	本当にキチンと登録したものが反映されているのか分からない。	アップロードの場所まで行き着かない。分らづらひのは、私だけでしょうか?	有	外部委託 内部制作	
9	大社文化プレイスうらら館	地域別、施設別に登録一覧表示される点が便利だが、反映されていなかった。	ジャンルのカテゴリを選択できるので便利。 オフィシャルサイトへのリンクを張るならもっとシンプルでもよいのではないかと。 承認後の編集はできるのでしょうか。	施設の画像登録をしたが、プレビュー画面で表示されなかった。	有		英語データを掲載する予定はなく、翻訳する予算もしていないし、今後行う見込みもない。
10	iichiko 総合文化センター	慣れれば難しい作業ではありませんでした。	慣れれば難しい作業ではありませんでした。ただ、イベントとイベントスケジュールとの棲み分けがよくわかりませんでした。	画像登録と反映はできたはずなのですが、Firefoxで見ているせいでしょうか、途中で写真が見えなくなってしまいます。これはどういう現象でしょうか。	無		英語データに変換するのはやはり手間です。日常的に英語化するとなるとやはり翻訳者を雇う必要が出てきますので、予算的にハードルが高くなると思います。
11	兵庫県立芸術文化センター	施設画像を登録したが、表示された画像が荒かった。また、施設の内部も登録するメニューがあったが、どのようにすれば公開できるのかわかりづらい。	イベントの登録と、イベントのスケジュールを個別に登録しなければならないので、操作が煩雑である。また、一括登録などの方法があれば使ってみよう。	1 と同様	有	内部制作	英語のデータを登録するときのメニューが英語で記載されているが、慣れないとわかりにくいのでできれば、日本語との併記が望ましいと思う。
12	北九州芸術劇場	登録方法、内容については特に問題ないと思います。内容の充実度も施設ごとで調整できるので現状が良いかと思っています。ただジャンル分け、表示のスタイルについては、以下をご検討頂きたいです。 ・検索結果として表示される施設の順番は登録順で最新のものから先に表示される感じでしようか? そうすると順番が変わらないので、定期的に表示される順番が変わるようにできるといろいろ施設が目につけるので良いかと思っています。 ・検索結果として表示されるのは施設の写真、名前、地域くらいでよいのでできればタイトル状に一列に4~5施設が並ぶように出来る方がよいと思います。現状だと2番目くらいまでしか画面に表示されず、それ以上はスクロールをしないと見られません。 ・施設概要部分(検索結果として表示される際)に「ファンリテイ」が細かく表示される必要はないかと思っています。 ・ファンリテイの表示は文字ではなくアイコンの方が良いかと思っています。 ・施設カテゴリの順番を「商業施設」「博物館/美術館」「公演施設」などを同じ列に並べ、自然系を同じ列に並べ、と順番にもある程度ルールがある方がわかりやすいかと思っています。 ・文化ジャンルがわかりにくい。「クラシックコンサート」「コンサート」の区別が英語だとつかないかと思っています。「Classic」「Popular Music」みたいにした方が良いかと。あと「演劇・ミュージカル・ダンス」がすべて同一なのも気になります。オペラが無いのも、一つにするならジャンル表記としては「パフォーマンス・アーツ」にして頂くのが一番包括的かと思っています。少なくとも英語表記は「Performing Arts」が一番わかりやすいかと。細分化可能な場合は「演劇」「ミュージカル・オペラ」「ダンス」に分けていただき、ダンスはできれば「バレエ」「コンテンポラリー」にさらに細分化して欲しいです。また英語で細分化する場合は「演劇」は「Theater」ではなく「Play」の方がわかりやすいかと。 ・「アート/芸術」というジャンル分けも意図が見えないように思います。 ・英語で「Comedy/Show」もわかりにくいです。演劇の一ジャンルのようにも見えますし、Show はかなり幅広い意味合いを持っているので、日本の「お笑い」をさすのであれば「Owarai (Japanese comedy show)」とした方が誤解がないように思います。 ・ファンリテイ情報には「多言語対応の有無」「視覚・聴覚障害者への対応の有無(特に演劇、美術などのイベント時)」があるとよいかと思っています。	・登録項目については現状が良いかと思っています。 ・「略称」は何を入ればよいのか分かりませんでした。 ・イベントカテゴリが大雑把すぎるかと思っています。音楽も舞台もまとめて「ライブ」しか選べないのとは分かりにくいです。特に英語だと内容が正確に伝わらない可能性が高いです。「Performing Arts」とするか、せめて「音楽」と「舞台芸術(演劇など)」は分けて欲しいです。施設の文化ジャンル分けと同程度の細分化はお願いしたいです。 ・「文化カテゴリ」の「生活」「趣味」「芸能」というくりは分かりにくいです。むしろジャンルごとに「パフォーマンス・アーツ」「ビジュアル・アーツ」「音楽」「伝統」「エンターテインメント」「ファッション」「建築」などがあり、その下に細分化されたジャンルが来る方がわかりやすいかと。多分こういったジャンル分けはワールドスタンダード的なものがあるように思うので、それにならうのが外国の方には一番わかりやすいかと思っています。 ・イベントごとに「外国語対応の有無」「視覚・聴覚対応の有無」が選べるのとよいです。 ・「イベント」と「イベントスケジュール」を別々に登録する必要があるのが面倒です。「イベント」情報に入れたものから必要な部分だけ抽出して「イベントスケジュール」に自動的に反影されるようになるのと良いです。 ・それが難しい場合、「イベントスケジュール」は純粋に日程・時間のみ記入するようにして「プログラム・出演者等」といった別途テキストを入れなければいけない枠は無い方が助かります。あってもあまり記入しないかと思っています。	・画像の登録については特に問題ありませんでした。まとめて画像がアップロードできるのも助かります。 ・強いといえばクレジット表記枠をつくって頂き、そこに記載したものが写真の左下などに自動的に表示されると嬉しいです。ただこれは難しいければイベントの「説明文」中に含むこともできるのでそこまで問題ではありません。	有	内部制作	・日本語のイベント枠に記入したものが、自動的に英語のイベント枠にも表示されると嬉しいです。例えば、 - タイトルが自動的にローマ字で英語ページに記載される - 日時(数字)が自動的に英語ページに反影される - 料金(数字)が自動的に英語ページに反影される など。 現状、すべて「説明文」にまとめて記載するようになっていますが、例えば演劇でいえば、英語で最低限必要なのは「タイトル」「日時」「料金」です。また「日時」「料金」は「月」「日」「時」「分」などの部分以外は基本的「数字」です。そのためある程度表記を統一し数字部分だけ入力したら自動的に日英イベントページに反影されるようになるのとでも楽です。「料金」については公演によって券面が異なるケースがあると思いますが、基本は「一般」のみ表記でそれ以外は「説明文」に入れるような形をとることもできるかと。 ・「イベントスケジュール」についても、「開演時間」「URL」は日本語で入れたものが自動的に英語になる助かります。 ・その他、英語のジャンル表記に関する改善希望は上記「1~2」をご確認下さい。

トップページ 見やすさ		トップページ 印象		トップページ 使いやすさ	
点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント
4	写真も多く、すっきりして見やすいが、「新着チケット情報」の幅が厚く、ページすべてを見るために、スクロールする量が多かった印象	4	日本文化に関わるイベントの情報サイトだということはよく伝わった	4	エリア／ジャンル別での情報が使いやすそうであった
5	写真と文字の分量のバランスが良い。	5	シンプルであり好印象である。	4	最新情報・カレンダー・人気の都市の優先順位が良い
4	違和感無く情報が識別できるが、TOPのFVにおいて、何があるサイトなのか分かりやすいといいのでは？	5	昨今主流であるホワイトをベースにした背景で、すっきりした印象。	3	不自由無く情報を探することができるが、少しTOPページが縦に長い印象。アンカーリンクなど、もう少しTOP上を行き来できるとより使いやすいのでは？
5	最新チケット情報が多くなると見にくくなると思うので、少し小さめのページリンクでも十分と感じました。	5	文字が大きく情報量が適切であり、和モダンのイメージもよいです。	5	リンクもわかりやすく使いやすいです。

4.5

4.8

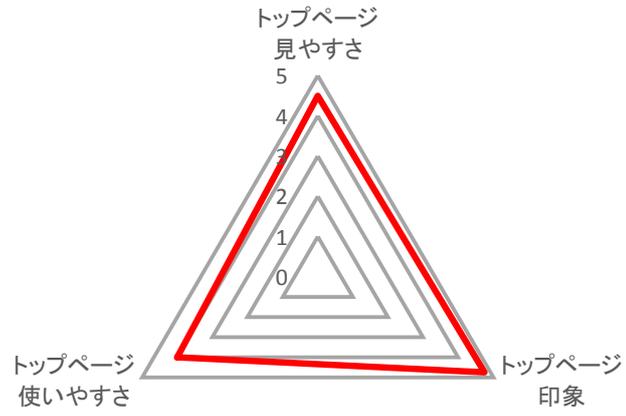
4.0

トップ ページ 見やすさ	5
--------------------	---

トップ
ページ
印象 5

トップ
ページ
使いやすさ 4

トップページ評価



検索 検索項目		検索 表示スピード		検索 表示内容	
点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント
5	問題なし	5	ストレスなし	4	問題なし
4	自由検索のみでなく、カテゴリーごとのプルダウン式であるほうが、好む公演を検索しやすいと思う。	5	早い	5	公演名・カテゴリー・日程等必要最小限の情報が整備されていて良い
2	「条件検索(する)」項目が見つかりづらい。 また、タブ切り替えでの複数条件設定は非常に使いづらい。 施設カテゴリ、という言い方が分かりづらいのは私だけ？	4	十分なスピードであると思う。	5	特に気になる点はなし。
5	日本語、英語以外の方でも使えと 日本のホテルフロントなどでもタブレット等でご案内できると感じました。	5		5	

4.0

4.8

4.8

検索
検索
項目

4

検索
表示
スピード

5

検索
表示
内容

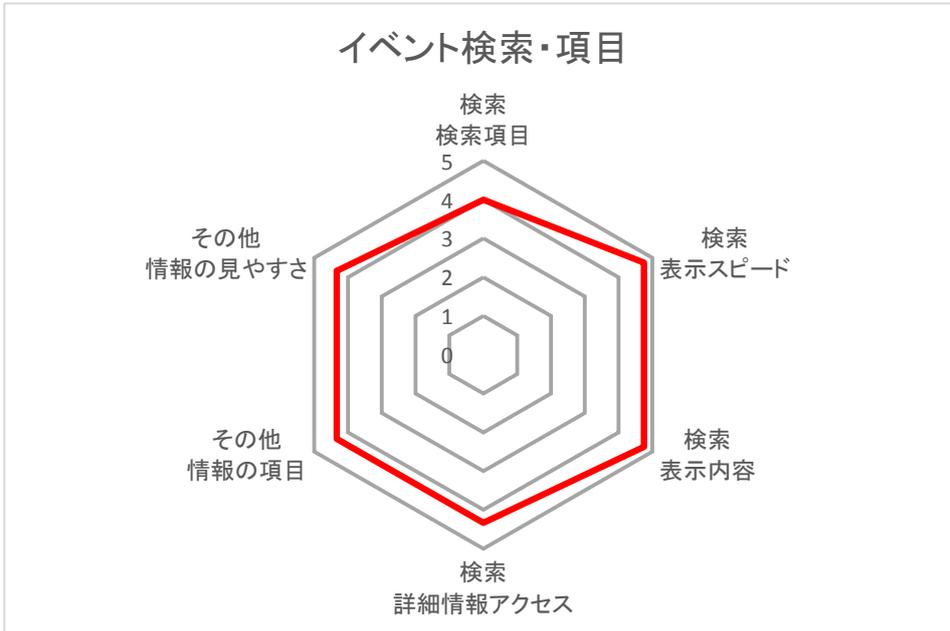
5

検索
詳細
情報の
項目

4

4

ての
他
情報
の見
やすさ



検索 詳細情報アクセス		入場券販売 機能の必要性		入場券販売 機能への要望	
点数	コメント	点数	コメント	点数	コメント
4	必要な情報は揃っている印象	なし	このサイトで完結する必要性は感じていない。リンクがもっとわかりやすいことが希望。	あり	チケット取扱サイトのリンクがアクティブでない箇所があるのは、やや不便 (次代へ伝えたい名曲 第6回 小山実稚恵 ピアノ・リサイタル)
5	オフィシャルサイトにアクセスすれば詳細情報を得られるので、この程度の情報量で良いと思う。強いていえば、各イベントの「おすすめのポイント」的なユーザーコメントか専門家のコメントがあれば新しい公演への興味につながる	なし	オフィシャルサイトや外部チケットングサイトにアクセスできれば不要	なし	同左
4	非常に見やすい。 施設詳細下部には、販売有無に関わらずチケット情報の項目はあるべき？ ※販売なしの場合、「現在の公演予定はありません。」など	あり	外部サイトへリンクするのは違和感ないが、そのリンク先では購入できるようにしてほしい。 二回リンクしなくてはいけないのは離脱を高める可能性も。	あり	リンクさせる場合は、最低限販売機能を実装しているリンク先であるべき？
5	リンク先の情報が事前にわかるので安心して使えます。	あり	一つのサイトから入場券等まで辿りつけると便利だと思います。 ただし、どこの地域の情報がわかるとよりよいです。	あり	

その他 情報の項目		その他 情報の見やすさ	
点数	コメント	点数	コメント
4	問題なし	4	見やすい
4	これからだと思うが各エリアページ等の情報はある程度あると良い。	4	見やすい
5		5	

4.3

4.3